

総合資料館 業務概要

- 平成 22 年度 -

京都府立総合資料館

目 次

1	新たな施設整備に向けた取組(経過)	1
2	新たな施設整備に向けた検討と連動した取組	3
3	利用者、資料収集・所蔵状況(全体概要)	3
4	展示、府民講座、情報発信等の取組	5
5	京都府行政文書修理事業	10
6	地域活性化交付金(住民生活に光をそそぐ交付金)を活用した資料のデジタル化	10
7	資料の収集・整理・保存	10
	(1) 図書資料	10
	(2) 文書資料	16
	(3) 管理委託現物資料	21
8	調 査	21
	(1) 古 文 書	21
	(2) 行 政 文 書	22
9	閲 覧	23
	(1) 図書資料	23
	(2) 文書資料	30
	(3) 管理委託現物資料	32
10	東寺百合文書の翻刻	32
11	共 同 研 究 等	33
	(1) 大学等研究機関との共同研究	33
	(2) 学会等視察受け入れ	33
	(3) 大学学外授業等の受け入れ	33
	(4) 大学への出講	34
	(5) そ の 他	34
12	図書館実習・インターンシップ	34
	(1) 図書館実習	34
	(2) インターンシップ	34
13	館蔵資料の撮影と複写	34
14	資 料 の 貸 与	35
	(1) 図書資料	35
	(2) 文書資料	36
	(3) 管理委託現物資料	38
15	図書館相互貸出	39
	(1) 府内公共図書館等	39
	(2) 国立国会図書館	39
16	施 設 の 状 況	39
17	組織・業務分担・予算(平成23年4月1日現在)	41
	(1) 組 織	41
	(2) 職 員 数	41
	(3) 業 務 分 担	42
	(4) 予算状況(平成23年度当初予算)	42
18	平成22年度の主な活動	43
19	沿 革	45
	(参考)館蔵資料の国宝等指定一覧(平成23年3月31日現在)	48

1 新たな施設整備に向けた取組(経過)

府立総合資料館は、京都に関する歴史、文化、産業、生活等の諸資料を総合的に収集し、これを整理・保存して、閲覧に供し、又は展示することにより、府民の調査研究等一般に供することを目的として、昭和38(1963)年に設置されました。

平成19(2007)年以降、施設の老朽化、総合資料館の機能や取り巻く環境の変化等を踏まえ、より一層府民の皆様のご期待に応えうる施設となるよう、館の果たすべき役割・機能のあり方を見据えながら、次のとおり、新たな施設整備に向けた検討を進めています。

◆ 「総合資料館あり方検討プラン」(平成19年度策定)の概要

○ 新たな総合資料館の基本コンセプト

「京都に関する資料を収集・保存・提供する施設」として、京都と日本の学術・文化の振興に貢献するとともに、だれもが身近に利用できる施設として府民ニーズに応える。

○ 基本コンセプト実現のために担うべき5つの役割

- ① 京都に関する歴史・文化関係資料の収集・保存とデータベースの構築
- ② 京都に関する専門研究の振興
- ③ 生涯学習等の支援
- ④ 次世代の教育支援
- ⑤ ネットワーク機能の強化

○ 新たな施設整備

府立大学をはじめとする大学等の研究機関や周辺施設等と連携しながら、所蔵資料の価値を最大限府民に還元できるよう、北山地域において新たな施設整備を図る。

◆ 「総合資料館基本構想」(平成20年度策定)の概要

○ 基本方針

- ① 京都に関する過去・現在について調べることのできる施設として、創設以来蓄積してきたノウハウを十分に発揮し、京都に関する資料を的確に収集・保存し、後世に確実に継承するとともに、引き続き、収集・整理・提供に努める。
- ② 新資料館の基本姿勢、性格を明確にするため、収集・保存・提供に関するガイドラインを策定し、公表する。

○ 重点事項

- ① 京都に関する資料の収集・保存と積極的活用
- ② 公文書館機能の充実
- ③ 研究・学習・教育支援とネットワーク機能の強化
- ④ 北山地域のなかの総合資料館

○ その他検討を要する課題

- ① 効率・効果的な運営
 - ・ 開館日、開館時間、資料提供方法等の検討を進め、公表
 - ・ 外部評価機関による評価・指導や協働・協力組織の育成
- ② 設置根拠等の整備
 - ・ 新資料館設置条例、組織体制、名称・愛称

◆ 北山文化環境ゾーン整備推進についての検討報告(平成21年度策定)の概要

北山地域が、府民が憩いやすらぐ場として、また、文化・環境・学術の交流発信拠点となるよう、将来像の基本的方向性『街区構想』を描く。

△ 街づくりのコンセプト

- 文化と環境に包まれたやすらぎと交流のなかで、京都を世界に発信する街
- 開放感あふれ、歩いてまわりたくなる街

△ 機能を整える視点(北山地域のエリアイメージ)

38ヘクタールもの広大な地域を、交通や人の流れ、周辺環境等を総合的に考慮し、次の5つのエリアに分け、そのイメージに沿った街づくりを進めることで、地域のポテンシャルを最大限に引き出す。

- 感じる(文化) 主として北山通から近い地域
- 学ぶ(学術) 主として北山通から遠い地域
- やすらぐ(環境) 主として植物園地域
- 憩う(親水) 主として賀茂川沿い地域
- ふれあう(交流) 主として北山通沿い地域

△ 総合資料館と府立大学とが連携する新施設の整備の方向性

新資料館については、府立大学等との連携を格段に強化するとともに、「北山文化環境ゾーン整備推進」全体の観点から府立大学施設の一部との合同整備を進める。

- 新施設(新資料館、府立大学文学部研究室・付属図書館等)は、京都の歴史・文化に関する資料を収集・保存・調査・研究するとともに、広く一般に提供し、その調査・研究や学びを支援し、国内外に情報を発信する拠点とする。

- ① 「国際京都学センター」を(資料館内)設置し、全国的・国際的交流と情報発信の拠点とする。

<国際京都学センター>

- ・ 高度な「京都学」の構築・研究のコーディネーター
- ・ 京都研究の啓発・普及・支援活動の拠点
- ・ センター設置に不可欠な総合資料館と府立大学(文学部研究室・付属図書館)の合同整備

- ② 連携強化による他の新たな機能の発揮

- ・ 府立大学との連携強化により、双方の資料等の一層広範で利便性に富む府民提供方法の開発
- ・ 京都調査・研究に関するレファレンスの積極的展開
- ・ 府民との一層多様な研究・学習交流の場の提供
- ・ 双方の特性を活かした院生や学生対象の各種教育プログラムの共同開発と社会人への提供等

- ③ 新総合資料館の新たな機能の展開

- ・ 資料館「基本構想」で提案された4機能の基本方向の具体化と体制整備
- ・ 府立大学、府立植物園等との連携の具体化
- ・ 府立の図書館、郷土資料館等関係機関との連携の推進方策を具体化(可能なものから実施)

北山文化環境ゾーン整備委員会検討結果(平成21年度)概要

新施設(新総合資料館、府立大学文学部・附属図書館の合同(1施設)整備)

- 「国際京都学センター」の設置による全国的・国際的交流と情報発信
- ・京都に係る「知」の更なる深化(共同研究の推進)
- ・京都しらべ・学習環境の充実・強化
- 総合資料館・府立大学文学部・附属図書館連携による機能・府民サービス向上
- ・京都関係資料の収集・保存・提供、研究・学習・教育の充実・拡大
- ・閲覧ワンフロア化と利用期間・時間拡大による府民サービスの向上
- ・府民等の知的関心・活動への支援強化
- ・施設規模 24,000㎡程度
- 3大学(府立医大、府立大、京都工芸繊維大)教養教育共同化施設
- ・3大学教養教育共同カリキュラム、3大学連携研究・ゼミ等の実施・学生等の交流
- ・医科大学医学科・看護学科の教養教育の機能移転(研究室、実習室、講義室等)
- ・施設規模 9,000㎡程度

新たな施設整備に向けた対応(平成22年度)概要

公募型設計競技の実施に向けた「新総合資料館(仮称)設計競技要項・設計条件(案)」の作成

- ・新館は、「国際京都学センター」、府立大学文学部・附属図書館との複合施設
- ・閲覧ワンフロア化をはじめとする諸形態・設計条件等について本庁・府立大学と調整
- 国際京都学センター設立準備委員会設立協議(本庁・府立大学との共同)
- ・同センターのコンセプト、機能、体制等の検討
- 「京の記憶ライブラリ」の構築
- ・総務省交付金を活用し、「京の記憶ライブラリ」システムの構築と東寺百合文書をはじめ約10,000点の資料をデジタル化した上で、従来の「京都北山アーカイブス」を加え、「知デジ京都」としてリニューアル
- 「京の記憶ライブラリ」
- キーワード、カテゴリー検索により画像等を検索・表示・印刷するシステム(23.4.1～館内運用、23.7.1～インターネット配信)

2 新たな施設整備に向けた検討と連動した取組

外部機関と連携した取組

- 府立大学文学部史学科との共同研究(平成14年度～)
- ・近世の京都府域を対象とした研究活動:「京都町奉行所関係資料集」の公表、「総合資料館・府立大学共同研究(近世部門)論文集」の公表
- ・講演会「洛中洛外図と徳川の京都」の開催
- 書籍『古典籍へようこそ - 京都府立総合資料館の書庫から - 』を出版
- 京都新聞掲載コラムと連動した展覧会等の開催
- ・展覧会「古典籍へようこそ - 京都新聞連載の古典籍と細川幽斎の文芸 - 」の開催
- ・講演会「細川幽斎・忠興とガラシャ」の開催

3 利用者、資料収集・所蔵状況(全体概要)

利用者等の状況

事 項	利用者数等	事 項	利用者数等
開館日数	318 日	総合資料館府民講座	616 人
閲覧室等利用者数	86,136 人	古文書入門教室	161 人
図書閲覧室	55,278 人	歴史資料カレッジ	515 人
文書閲覧室	2,784 人	古文書相談	5 件
古文書	919 人	展覧会	4,854 人
行政文書	1,474 人	資料の特別撮影・利用 (管理委託現物資料を含む)	459 件 1,140 点
写真資料	17 人	資料の複写 (電子式複写・マイクロ複写等)	13,477 件 332,564 枚
近代文学資料	26 人	資料の館外貸与 (管理委託現物資料を含む)	56 件 1 456 点(冊)
その他	348 人	京都北山アーカイブズ	295 人
学習室	28,074 人		
図書の書庫出納冊数	57,137 冊		
図書資料の相談件数	12,429 件		

1 図書資料については、冊数で算出

館蔵資料の収集・所蔵状況

資料区分		平成 22 年度受払状況							累計 (平成 23 年 3 月 31 日現在)
		受 入					払 出	計	
		購 入	寄 贈	取 得	保管換 移 管 引渡等	計			
図書 資料 (文献課)	図書資料	1,663	2,782	1,473	-	5,918	-	5,918	354,088
	その他 ¹	-	-	-	-	-	-	-	2,446 点
	小 計	1,663	2,782	1,473	-	5,918	-	5,918	356,534 冊(点)
² 文書 資料 (歴史 資料課)	古文書 ³	(10)179	(7)3,962	-	-	(17)4,141	-	(17)4,141	(579)89,674 点
	行政文書	-	-	13	2,655	2,668	-	2,668	78,808 冊
	写真資料	-	(1)2	-	-	(1)2	-	(1)2	(15)6,770 点
	近代文学資料	-	-	-	-	-	-	-	(2)23,788 点
	その他 ⁴	-	-	-	-	-	-	-	256 点
小 計	179	3,964	13	2,655	6,811	-	6,811	199,296 点	
⁵ 管理委託 現物資料	美術工芸資料	-	173	-	-	173	-	173	9,630 点
	歴史民俗資料	-	207	-	-	207	-	207	18,942 点
	その他 ⁶	-	-	-	-	-	-	-	23,173 点
	小 計	-	380	-	-	380	-	380	51,745 点
合 計		1,842	7,126	1,486	2,655	13,109	-	13,109	607,575 冊(点)

1 レコード、版木ほか。

2 文書資料欄の()内の数字は、各資料の固まりを示す文書群等の件数である。

3 古文書の点数は、平成 13 年度から、詳細目録により算定した数値に変更した。

4 鳥類はく製、京都府旧公印ほか。

5 管理委託現物資料は、京都府京都文化博物館を運営する財団法人京都文化財団に管理委託した美術工芸資料等の現物資料である。

6 吉川観方コレクション、江馬務コレクションほか。

4 展覧会、府民講座、情報発信の取組

展示（展覧会の開催）

本年度、当館展示室において、次の3つの展覧会を開催し、入場者数は延べ4,854人でした。

展覧会名	企画展「語り継がれる幕末・維新の京都」
会期	平成22年7月24日(土)～8月22日(日)
展示の内容	幕末・維新时期の京都に焦点を当て、この時代が現在までどのように語り継がれたきたかを、総合資料館が所蔵する貴重な資料の中から振り返る企画展を開催しました。
関連行事	記念講演会 平成22年8月4日(水) 午前10時～12時 「坂本龍馬はどこで殺されたのか - 京都幕末史蹟の顕彰から検証へ - 」 講師：中村武生氏（歴史地理史学者/立命館大学非常勤講師） 記念講演会 平成22年8月17日(火) 午前10時～12時 「維新観としての『志士』と京都」 講師：笹部昌利氏（佛教大学・京都産業大学非常勤講師） 列品解説 平成22年7月29日(木) 午後2時～3時 平成22年8月12日(木) 午後2時～3時
出品点数	90点
入場者数	2,165人（開催日数29日間、1日平均75人）

展覧会名	展覧会「古典籍へようこそ - 京都新聞連載の古典籍と細川幽斎の文芸 - 」
会期	平成22年10月30日(土)～11月28日(日)
展示の内容	京都新聞連載コラム「古典籍へようこそ」で取り上げた古典籍の実物を紹介するとともに、京都にゆかりのある戦国武将で歌人でもあった細川幽斎(藤孝)の没後400年を記念し、幽斎の息子で同じく文化人でもあった忠興とその妻ガラシャに関する資料も交えて、細川幽斎の文芸の世界を紹介しました。
関連行事	記念講演会 平成22年11月11日(木) 午後2時～4時 「細川幽斎・忠興とガラシャ」 講師：田端泰子氏（京都橘大学文学部教授） 列品解説 平成22年11月4日(木) 午後2時～3時 平成22年11月18日(木) 午後2時～3時
出品点数	50点
入場者数	1,294人（開催日数27日間、1日平均48人）

展覧会名	総合資料館収蔵品展
会 期	平成23年2月26日(土)～3月27日(日)
展示の内容	平成23年秋に開催される京都国民文化祭を記念して、短歌や川柳、伝統芸能をはじめ京都の民話など、また、新しく公開シマスコミ等でも大きく報道された「京都市明細図」、天眠文庫より与謝野晶子の詩や油絵等、資料館メールマガジン掲載写真資料等を紹介しました。また、立命館大学文学部インターンシップの成果発表も展示しました。
関連行事	府民講座 平成23年3月13日(日) 午後2時～4時 「京都の暮らしとわらべ歌・仕事歌」 講師：民謡合唱団「篝(かがり)」 寺子屋講座「聞こう！学ぼう！京都の民話」 平成23年3月25日(金) 午前10時00分～11時45分
出品点数	95点
入場者数	1,395人(開催日数28日間、1日平均49人)

講座等

(1) 総合資料館府民講座

当館では、平成14年度から総合資料館友の会との共催で、外部講師や当館職員により、歴史や伝統文化、館蔵資料紹介等のテーマで「総合資料館府民講座」を開催しています。本年度は第64回から第72回まで8回開催(歴史資料カレッジとして開催した第68回を除く)し、受講者数は延べ616人でした。

「総合資料館府民講座」の開催状況

回	月日	講 師	演 題	受講者数
64	6月30日 (水)	水本邦彦氏(京都府立大学名誉教授・長浜バイオ大学教授)	総合資料館・京都府立大学共同研究(近世部門)論文集刊行記念講演 「洛中洛外図と徳川の京都」	65
65	8月4日 (水)	中村武生氏(歴史地理史学者/立命館大学非常勤講師)	*企画展「語り継がれる幕末・維新の京都」記念講演 「坂本龍馬はどこで殺されたのか - 京都幕末史蹟の顕彰から検証へ - 」	137
66	8月17日 (火)	笹部昌利氏(佛教大学・京都産業大学非常勤講師)	*企画展「語り継がれる幕末・維新の京都」記念講演 「維新観としての『志士』と京都」	101
67	8月19日 (木)	大谷貴美子氏(京都府立大学生命環境学部教授)ほか、浅野智士氏(京都府農林水産部農産課主査)、松田万智子(当館職員)	総合資料館・京都府立大学連携事業 寺子屋講座 「学ぼう！京野菜・京の健康食」	24

69	11月11日 (木)	田端泰子氏(京都橘大学文学部教授)	* 展覧会「古典籍へようこそ - 京都新聞連載の 古典籍と細川幽斎の文芸 - 」記念講演 「細川幽斎・忠興とガラシャ」	101
70	11月14日 (日)	赤瀬信吾氏(京都府立大学文学部教授)、当館職員ほか	* 展覧会「古典籍へようこそ - 京都新聞連載の 古典籍と細川幽斎の文芸 - 」シンポジウム 「古典にまなび、古典にあそび」	100
71	23年3月 13日(日)	民謡合唱団「篝」	* 収蔵品展関連事業 講演会 「京都の暮らしとわらべ歌・仕事歌」	68
72	3月25日 (金)	村上郁氏、吉村悦子氏	* 収蔵品展関連事業 寺子屋講座 「聞こう!学ぼう!京都の民話」	20
合 計				616

(2) 古文書入門教室・歴史資料カレッジ等

平成21年度に引き続き、本年度も当館を会場に古文書解読に必要な初歩的知識を解説する「古文書入門教室」と、京都府立大学合同講義棟第3講義室、大学会館を会場に館蔵資料を活用した講義を行う「歴史資料カレッジ」を開催しました。

「平成22年度古文書入門教室」の開催状況

日 程	講 師	演 題	受講者数
22年11月30日(火)	大塚 活美 (当館職員)	古文書入門教室	59人
12月1日(水)			50人
12月2日(木)			52人
合 計			161人

「平成22年度歴史資料カレッジ」の開催状況

	日 程	講 師	演 題	受講者数
前 期	22年9月2日(木)	井口 和起 (当館職員)	「私の家も『疎開候補』だった - 戦時下京都府の建物疎開を考 える - 」	88人
	9月9日(木)	山田 洋一 (当館職員)	「久美浜代官所領の御用留に みる丹後・但馬・美作」	94人
	9月30日(木)	東 昇氏 (京都府立大学 准教授)	「『郡村誌』でみる近世・近代の 八幡 - 京都府立大学の現地調 査 - 」	91人
後 期	23年3月3日(木)	島津 良子氏 (奈良女子 大学講師)	「御用状を読む - 旗本天野氏上方代官 森島家の文書から - 」	97人
	3月10日(木)	福島 幸宏 (当館職員)	「京都府が建てたもの - 府庁・学校・施設」	67人
	3月17日(木)	池田 好信 (当館職員)	「東寺百合文書にみる京都の 諸断面」	78人
合 計				515人

「平成22年度出張講座」の実施状況

日程	出張先	講師	演題	受講者数
22年 4月17日 (土)	綾部市郷土市講座	山田 洋一 (当館職員)	触にみる近世「徳川領国」内 丹波国の構造 - 京都府域 関係古文書のアレンジメント の前提として -	約50人
10月16日 (土)	三重県立斎宮歴史 博物館特別展 「賀茂斎院と伊勢 斎宮」関連講座	土橋 誠 (当館職員)	賀茂祭の魅力と賀茂斎院	約30人
10月23日 (土)	京丹後市 文化財セミナー	山田 洋一 (当館職員)	峯山京極家と峯山藩の運営	130人
11月27日 (土)	京都府立丹後郷土資 料館古文書講習会	山田 洋一 (当館職員)	御用留、御触留にみる近世 丹後・丹波・山城・京都	20人
合 計				約230人

(3) 古文書相談

古文書相談は、比較的軽易なものが多く、すべて相談者の意向により随時郵送により回答しました。
相談件数は、合計で5件でした。

編集・刊行

本年度に編集・刊行した刊行物は次のとおりです。

「資料館紀要」第39号 A5版 105頁

・総合資料館・府立大学共同研究事業 京都町奉行所関係資料集 三
古久保家文書

「寛文八年 町代役之覚」

「宝暦五年 仲ヶ間勤方並年寄町用人勤方御尋二付書上ル控」

「明和三年 諸事覚」

「東寺百合文書 八(二函の一部112点・ホ函103点・ト函の一部75点)」(総合資料館編)
A5判 448頁

「総合資料館だより」 163～166

163(平22.4.1) 8頁

・御蔭祭 - 神のお迎いの神事 -

・文献課の窓から「総合資料館の『平家物語』 - 旧分類の図書 又 - 」

・歴史資料課の窓から「残された文書・失われた文書」 ・最近の収集資料から

・新規公開資料のご紹介(行政文書) ・平成22年度の行事予定について

・「国際アーカイブズの日」について ・友の会事務局から 日誌 利用案内 他
164(平22.7.1) 10頁

・黒船来港を描く～『亞米利加ペルリ上陸圖』～

・文献課の窓から「明治期の『橋梁寫真帖』より」

・歴史資料課の窓から「初代京都駅を探る」 ・全史料協 全国(京都)大会のご案内

・最近の収集資料から ・歴史資料カレッジのご案内

・展覧会のお知らせ ・友の会事務局から 日誌 利用案内 他

165 (平22.10.1) 10頁

- ・南北朝内乱の一齣を切り取った古文書
- ・文献課の窓から『「都」と「日出」～戦後京都の夕刊紙～』
- ・歴史資料課の窓から
「行政文書に見る京都 建物疎開関係資料について - 京都のイメージのために - 」
- ・展覧会等のお知らせ ・最近の収集資料から ・全史料協 全国(京都)大会
- ・平成22年度古文書入門教室へのお誘い ・友の会事務局から 日誌 利用案内 他

166 (平23.1.1) 10頁

- ・百人一首 お正月の遊び ・平成23年知事年頭あいさつ
- ・歴史資料課の窓から「古文書つれづれ 39」
- ・文献課の窓から「蔵書検索端末が変わりました」 ・「東寺百合文書」第8巻を刊行
- ・平成22年度歴史資料カレッジ(後期分)のご案内 ・最近の収集資料から
- ・展覧会に多数のご来場ありがとうございました
- ・友の会事務局から 日誌 利用案内 他

ホームページ

平成14年7月19日に開設した当館のホームページでは、休館日・所在地等の利用案内、講座・展覧会等の各種行事案内、館蔵資料の概要等を紹介しています。平成16年4月1日からは、デジタルデータベース「京都北山アーカイブズ」のサンプル版も公開しています。

所蔵資料をホームページ上において展覧会形式で紹介する「デジタル展覧会」には、「ネット展覧会」、「京の鳥瞰図絵師 吉田初三郎」、「先人たちの京都研究」を掲載しています。

また、資料館が所蔵している主な京都府内各市町村史誌類の目次を収録した『京都府内市町村史目次集』を掲載するとともに、総合資料館が所蔵する行政文書のデジタル画像の一部を『行政文書アーカイブズ』として掲載しました。

なお、平成18年10月5日に創刊した「総合資料館メールマガジン」は、隔週水曜日に発行しています。配信状況は下記のとおりです。

メールマガジン配信状況

号数	配信日	部数	号数	配信日	部数	号数	配信日	部数
第92号	4月7日	606	第101号	8月11日	608	第110号	12月15日	619
第93号	4月21日	603	第102号	8月25日	613	第111号	12月29日	618
第94号	5月5日	602	第103号	9月8日	615	第112号	1月12日	619
第95号	5月19日	600	第104号	9月22日	616	第113号	1月26日	618
第96号	6月2日	602	第105号	10月6日	609	第114号	2月9日	618
第97号	6月16日	604	第106号	10月20日	616	第115号	2月23日	618
第98号	6月30日	604	第107号	11月3日	614	第116号	3月9日	615
第99号	7月14日	606	第108号	11月17日	620	第117号	3月23日	610
第100号	7月28日	608	第109号	12月1日	619			

資料館友の会の活動

当館の事業に協賛する方によって、友の会が組織されており、本年度の会員数は247人でした。主な活動内容は以下のとおりです。

現地講座

5月18日(火)に「並河靖之七宝記念館」において実施し、67人の参加がありました。

見学会

10月27日（水）及び29日（金）に奈良市の奈良国立博物館、海龍王寺及び靈山寺において実施し、90人の参加がありました。

総合資料館府民講座

館と共催で、歴史や伝統文化、館蔵資料紹介等をテーマとした「総合資料館府民講座」を8回開催しました。

「総合資料館だより」の発行・配付

館と共同でN0.163からN0.166を発行するとともに、会員に送付しました。

5 京都府行政文書修理事業

平成14年に都道府県行政文書として日本で初めて重要文化財に指定された「京都府庁文書」（京都府立庁前年（慶応4年）から昭和21年度までの15,407点）について、適切な保存と積極的な利・活用を図るため、損傷の修理等を行いました。

今年度は敗戦直前の建物疎開関係資料を中心に33点の修理を行ったほか、経常的な手当を59点に対して行いました。また、文化庁が主催する「近代行政文書の保存活用にかかる意見聴取」に職員を派遣し、行政文書の保存活用のあり方について、意見交換を行いました。

6 地域活性化交付金（住民生活に光をそそぐ交付金）を活用した資料のデジタル化

地方の地域づくり等に対する取組を支援するため創設された上記交付金を活用し、非常に大型で閲覧が困難であった神社一覧・寺院一覧や地籍図、利用が予想される官国幣社明細帳や日露時局記事などの資料のデジタル化を行いました。また、高度成長期に府が作成した16mmフィルム5本について、デジタルデータへの変換を行いました。

7 資料の収集・整理・保存

当館では、京都に関する資料等を総合的に収集・整理・保存していますが、資料の種類と内容は次のとおりです。

（1）図書資料(文献課)

図書、逐次刊行物、パンフレット等の印刷物(写本、原稿、書簡、写真、マイクロフィルム等を含む。)及びこれに準ずる資料

（2）文書資料(歴史資料課)

古文書(古代・中世文書、近世・近代文書)、行政文書、写真資料、近代文学資料及びこれに準ずる資料

（3）管理委託現物資料(財団法人京都文化財団に委託)

美術工芸資料、歴史民俗資料等の現物資料

（1）図書資料

本年度に収集した資料冊数は、次のとおりです。

区分	購入	寄贈	取得等	計
京都資料	710冊	1,373冊	723冊	2,806冊
人文資料	569	787	118	1,474
官庁資料	京都関係	440	552	1,069
	国・他府県	307	182	569
合計	1,663	2,782	1,473	5,918

(7) 京都資料

書名	著 編 者 等	備考
報徳思想と近代京都 稲荷大神 お稲荷さんの起源と信仰のすべて 京都古社寺辞典 大谷光瑞とアジア 知られざるアジア主義者の軌跡 紫野大徳寺の歴史と文化 中世京都闇と陰の世相史年表 信長が見た戦国京都 城塞に囲まれた異貌の都 (歴史新書 y 007) 京都写真館 なつかしの昭和 20 年～40 年代 山城名所記 12 巻 亀岡・南丹・京丹波の今昔 亀岡市・南丹市・京丹波町 京都市都市計画地図集 平成 22 年版 ほんものの京都企業 なぜ何百年も愛され続けるのか 京都の流儀 人生と仕事を豊かにする知恵 我等の歌-崇仁歴史年表 宮司が語る京都の魅力 日本人の心の源流を探る [大阪より伏見まで淀川航行計画図] 秘蔵写真京の御所と離宮 京都の五大皇室建築美 京友禅「千總」 450 年のブランド・イノベーション 京都ねこ街案内 京たけのこが教えてくれた 放置竹林の喜怒哀楽 京狩野の研究 通学路 京都府 町家の京言葉 明治三〇年代生まれ話者による 分類語彙篇 京都うた紀行 近現代の歌枕を訪ねて	並松信久著 中村陽監修 吉川弘文館編集部編 柴田幹夫編 竹貫元勝著 小高恭編 河内将芳著 白幡洋三郎監修 [山本泰順編] 永光尚監修 ジンブン 21 編 竹原義郎著 八幡和郎・CDI 著 竹口等著 中川久公著 渡辺誠著 長沢伸也・石川雅一著 中田桃子文 杉谷保憲著 脇坂淳著 横浪修写真 寺島浩子著 永田和宏・河野裕子著	購入
ふるさと山家の今昔写真 第 3 巻 私たちの時代 平成時代のカラー写真 北稲八間区史 平成 22 (2010) 年 稿本神陵史 大学予科篇 大江山草木誌 京都彫刻家協会 創立 40 周年記念誌 地域資源「時代劇」で再生する「映画のまち太秦」～次世代に伝える地域の技術～事業報告書 京都辻留季節の煮物椀 童心 違いを認めあい共に生きる 2010 年記念誌	山家今昔写真の会編 区史編集委員会編 三高記念室編 日本の鬼の交流博物館・福知山市教育委員会生涯学習課・大江山草木誌編纂委員会編 京都彫刻家協会[編] 京都・太秦時代劇再生協議会[編] 平晴彦著 マイブック社編 京都童心の会[編]	寄贈
平城の北・恭仁宮 木津川流域の奈良時代 特別展 今造る久邇の都は (展示図録 31) 水が語る京の暮らし 伝説・名水・食の文化 幕末・維新期の大山崎 第 18 回企画展	京都府立山城郷土資料館編 鈴木康久著 大山崎町歴史資料館[編]	取得

北垣国道日記「塵海」 京丹後市久美浜湾の古環境と形成過程 阿蘇海・天橋立との比較 洛和会音羽病院開設 30 周年記念誌 鉄道～果てしなく続く路～ 平成 22 年度夏季特別展 京都一綾 部間開通 100 周年記念	北垣国道〔著〕 塵海研究会編 植村善博編 洛和会音羽病院開設 30 周年記念 誌編集委員会編 南丹市立文化博物館・南丹市日吉 町郷土資料館編	
---	---	--

(イ) 人文資料

区分	書名	著編者等	備考	
参考図書	日本書誌学体系 99-1・2 ブリタニカ国際年鑑 2010 古事類苑新仮名索引 全国各種団体名鑑 2011 上・中・下・別冊 新猿楽記(尊経閣善本影印集成 42)	後藤憲二編 [ブリタニカ・ジャパン編] 倉本一宏編 原書房編集部編 [藤原明衡著]	購入	
	著作権文献・資料目録 2008 圖書寮叢刊 看聞日記 5 全国首長名簿 2009 年版 国宝土佐日記	大家重夫・黒澤節男編 宮内庁書陵部[編] 地方自治総合研究所編 [前田育徳会編]	寄贈	
	個人著作集内容総覧 1997-2001 上, 2002-2006 上 全集・叢書総目録 1999-2004-2 図書館の原則	日外アソシエーツ株式会社編 日外アソシエーツ株式会社編 アメリカ図書館協会知的自由部編纂	取得	
宗教	日本陰陽道史総説 日本古代神祇制度の形成と展開 日本神道史 唯識仏教辞典 法名で引く忌日索引 中世僧侶・在家者 里修験の研究 続 法然遺文の基礎的研究(増補改訂) 親鸞聖人眞蹟集成 全 10 巻 中世法華寺院法史論	村山修一著 三橋正著 岡田莊司編 横山紘一著 田辺久子編 宮本袈裟雄著 中野正明著 赤松俊秀編 清田義英著	購入	
	日本の宗教と文化 陰陽師、勸進聖らの担った民俗信仰 お稲荷さんの世界 熊野三山の至宝 熊野信仰の祈りのかたち 東大寺法華堂の創建と教学 論集 元三大師良源 比叡山中興の祖 本願寺教団史料 京都・滋賀編	京都光華女子大学真宗文化研究所編 府中文化振興財団府中市郷土の森博物館編 和歌山県立博物館編 GBS 実行委員会編 大津市歴史博物館編 本願寺史料研究所編	寄贈	
	住吉(すみよっ)さん 住吉大社一八〇〇年の歴史と美術	大阪市立美術館編	取得	

歴史・地誌	<p>細川家文書 中世編(永青文庫叢書)</p> <p>故実叢書(改訂増補) 全40巻</p> <p>三角縁神獸鏡研究事典</p> <p>律令制国家と古代宮都の形成</p> <p>国分寺瓦の研究 考古学からみた律令期生産組織の地方的展開</p> <p>荘園史と荘園絵図</p> <p>令義解の受容と研究</p> <p>鎌倉幕府守護の基礎的研究 論考編・国別考証編</p> <p>戦国時代年表 後北条氏編</p> <p>江戸幕府日記 20冊</p> <p>明治国家と地域教育 府県管理中学校の研究</p> <p>お雇い外国人の研究 上・下</p> <p>満濟准后日記人名索引</p> <p>織田信長家臣人名辞典 第二版</p> <p>天皇皇族実録 135冊</p>	<p>熊本大学文学部附属永青文庫研究センター編</p> <p>故実叢書編集部編</p> <p>下垣仁志著</p> <p>石川千恵子著</p> <p>梶原義実著</p> <p>奥野中彦著</p> <p>荊木美行著</p> <p>伊藤彦著</p> <p>下山治久編</p> <p>[野上出版編]</p> <p>荒井明夫著</p> <p>梅溪昇著</p> <p>満濟准后日記研究会編</p> <p>谷口克広著</p> <p>藤井讓治・吉岡眞之監修</p>	購入
	<p>木簡から古代がみえる</p> <p>国宝土偶展 文化庁海外展大英博物館帰国記念</p> <p>MASK 仮面の考古学</p> <p>邪馬台国 九州と近畿</p> <p>大遣唐使展 平城遷都一三〇〇年記念</p> <p>多賀城・大宰府と古代の都 特別史跡多賀城跡調査50周年記念特別展</p> <p>平城宮第一次大極殿の復原に関する研究 2・3</p> <p>天平びとの声をきく 地下の正倉院・平城宮木簡のすべて</p> <p>室町最後の将軍 足利義昭と織田信長</p> <p>徳川家康の遺愛品 江戸を開いた天下人</p> <p>龍馬伝 2010年NHK大河ドラマ特別展</p> <p>陵墓と文化財の近代</p>	<p>木簡学会編</p> <p>文化庁・東京国立博物館編</p> <p>大阪府立弥生文化博物館編</p> <p>大阪府立弥生文化博物館・九州国立博物館編</p> <p>奈良国立博物館編</p> <p>東北歴史博物館編</p> <p>国立文化財機構奈良文化財研究所編</p> <p>国立文化財機構奈良文化財研究所編</p> <p>滋賀県立安土城考古博物館編</p> <p>三井文庫三井記念美術館編</p> <p>NHK プロモーション編</p> <p>高木博志著</p>	寄贈
	<p>永原慶二著作選集 全10巻</p> <p>中世集落景観と生活文化 阿波からのまなざし</p> <p>足利義満 法皇への夢を追った華麗な生涯</p> <p>楠葉台場跡 本編・史料編</p> <p>地図史料学の構築 第1部</p>	<p>永原慶二著</p> <p>石尾和仁著</p> <p>伊藤喜良著</p> <p>枚方市文化財研究調査会ほか編</p> <p>杉本史子研究代表</p>	取得
美術・芸能・写真	<p>舍利荘厳美術の研究</p> <p>美学・美術史研究文献要覧 2005-2009</p> <p>最新美術・デザイン賞事典 2003-2009</p> <p>「帝国」と美術</p> <p>江戸の絵本</p> <p>仏画の尊容表現</p>	<p>内藤栄著</p> <p>星山晋也監修</p> <p>日外アソシエーツ編</p> <p>五十殿利治編</p> <p>鈴木淳編</p> <p>泉武夫著</p>	購入

上方風俗画の研究 浮世絵レファレンス事典 米芾『画史』註解 上下 黒田清輝フランス語資料集 藤田嗣治の絵画技法に迫る 横尾忠則全ポスター 書の総合事典 清宮質文全版画集 イタリア写真の精粹 1945-1975 丹波の名陶	山本ゆかり著 日外アソシエーツ編 古原宏伸著 黒田清輝著 木島隆康編 横尾忠則画 井垣清明編著 清宮質文著 パオロ・モレッロ編著 藤森武撮影	
高僧と袈裟 陰影礼賛 室町三井家の名品 東京文化財研究所七十五年史 本文編 全国賀茂社名鑑 三沢厚彦 アニマルズ in TOCHIGI マイ・グランドマザーズ *国宝伴大納言絵巻 *圖案百題 1～3 *色彩旅路 *古筆切影印解説 久曾神コレクション 1～4 *手鑑 重美 京都・観音寺蔵 (古筆手鑑大成 14) *日本の庭 木戸雅光作庭集 *伊藤若冲動植綵絵 全三十幅 (図版篇・調査研究篇) *信楽古壺大成 *福沢一郎作品集 全2巻 *吉祥図案解題 上・下	京都国立博物館編 国立新美術館編 三井文庫三井記念美術館編 国立文化財機構東京文化財研究所編 全国賀茂社連合編 三沢厚彦作 やなぎみわ作 黒田泰三著 荻野一水筆 山宗実業編 久曾神昇著 『古筆手鑑大成』編集委員会編 木戸雅光撮影 伊藤若冲画 藤森武写真 福沢一郎著 野崎誠近著	寄贈

*印の資料10点は、財団法人京都高等学校から御寄贈いただきました。

□ 吉田文庫

この文庫は、京都大学名誉教授・元京都府京都文化博物館長・故吉田光邦博士(大正10年生、平成3年没)が蒐集された総合的なコレクションです。平成3年度に御遺族の吉田茂博氏から寄贈を受けました。その後も、吉田文庫に関係のある個人・団体から引き続き送付いただいています。

(ウ) 官庁資料

区分	書名	著編者等	備考
京都関係	京都市の赤痢発生に関する衛生學的觀察	京都府衛生課[編]	購入
	京都府農事統計書 昭和14年	京都府農會[編]	
	京都・地下鉄東西線	京都高速鉄道株式会社・日本鉄道建設公団大阪支社[編]	
	京都市農會統計書 昭和12年	京都市農會[編]	
	衛生統計年報 1962	京都市北保健所[編]	

	<p>傳染病豫防法心得書 「生き方探究・チャレンジ体験」推進事業 10年の歩み 自然と文明のかけはし百年の森づくり 合併記念の森全体構想 井手町統計書 平成22年版</p> <p>教育要覧 平成22年度 亀岡市の水道 平成21年度 舞鶴市危機管理基本指針</p> <p>京丹後市環境基本計画 古代から未来へ</p>	<p>[京都府編] 京都市教育委員会[編] 京都市産業観光局農林振興室林業振興課[編] 京都府綴喜郡井手町役場企画財政課編 木津川市教育委員会[編] 亀岡市上下水道部編 舞鶴市危機管理室危機管理・防災課[編] 京丹後市農林水産環境部環境バイオマス推進課[編]</p>	寄贈
	<p>京都人権啓発推進会議 25年のあゆみ 京都人権啓発推進会議設立 25周年記念冊子 地域力再生活動事例集 丹後の力がここにある</p> <p>[京都府統計研究会関係写真帳] 京都府林業統計 平成21年度 国民文化祭京都2011 ところを整える～文化発心 プレガイドbook 京都府立丹波自然運動公園開園40周年記念誌</p>	<p>京都人権啓発推進会議編 京都府丹後広域振興局企画振興室[編] [京都府統計研究会編] 京都府農林水産部[編] 第26回国民文化祭京都府実行委員会[編] 京都府立丹波自然運動公園協力会編</p>	取得
国	<p>経済財政白書 平成22年版 土地白書 平成22年版 雨量年表 第53回 流量年表 第58回 日本の大気汚染状況 平成21年版 建築統計年報 平成21年度 日本の水資源 平成22年版</p>	<p>内閣府編 国土交通省編 国土交通省河川局編 国土交通省河川局編 環境省水・大気環境局編 国土交通省総合政策局編 国土交通省土地・水資源局編</p>	購入
	<p>小売物価統計調査年報 平成21年 労働力調査年報 平成21年 水害統計 平成20年版</p>	<p>総務省統計局統計調査部編 総務省統計局編 国土交通省河川局編</p>	寄贈
	<p>人口動態統計 平成20年上・中・下巻 住宅・土地統計調査報告 平成20年</p>	<p>厚生労働省大臣官房統計情報部編 総務省統計局編</p>	取得

エ 雑誌・新聞等

京都関係、日本の歴史、美術工芸、伝統的芸能、官庁関係等の雑誌類及び新聞類を次のとおり収集し、所蔵しています。

区 分	購 入	寄贈・取得	計
京 都 関 係	8タイトル	2,790タイトル	2,798タイトル
一般(歴史・美術・官庁等)	106	2,670	2,776
京 都 官 庁 関 係	—	731	731
計	114	6,191	6,305

(2) 文書資料

ア 古文書

(7) 収集

本年度、収集した古文書は、次のとおりです。

区分	資料名	形態	点数	地域	時期	資料概要(内容/特記)	備考
近 世 ・ 近 代	宮本守三家 文書・乙	古文書	3,664	綴喜郡井手町	寛永19(1642)年～ 昭和期	綴喜郡井手町で質屋を家業としながら庄屋・綴喜郡長など地域の指導的役割を担ってきた宮本家に伝来した資料の第2次分。	寄贈
	中村家文書	古文書	63	京都市	明治5(1872)年～ 大正2(1913)年	地下官人(今出川家(菊亭家)の侍)の中村家に伝来した資料。	寄贈
	平井氏旧蔵 中村家文書	古文書	7	京都市	明治年間	地下官人(今出川家(菊亭家)の侍)の中村家の資料の内、縁戚の平井家に伝来したもの。	寄贈
	塩見氏旧蔵 元北小路町 木札	木札	1	京都市	明治6年	京都市上京区今出川通大宮西入ルの元北小路町の戸長だった塩見清右衛門宅に保管されていた木札。	寄贈
	檜垣家文書	古文書	223	京都市	寛延3(1750)年～ 明治30(1897)年	吉祥院村(京都市南区)の庄屋を勤めた檜垣家に伝来した資料。	寄贈
	洛中洛外御 巡見場所留 書	古文書	1	京都市	元禄16(1703)年	元禄16年3月8日～20日に稲垣対馬守が洛中洛外の寺社等を巡見した時の記録。	購入
	室町頭南半 町文書	古文書	1	京都市上京区	明治5年	明治5年に室町頭南半町の年寄高木惣七が京都の町文書として古くから秘蔵されていた文書を写したもの。	購入
	京都堅木地 職仲ヶ間定 書	古文書	1	京都市・丹波	天保2(1831)年	洛中洛外・近江・丹波の木地師仲ヶ間の天保2年の定書。	購入
	陵所絵図	古文書	1	京都府・奈良 県・大阪府	天保7(1836)年写	御陵について江戸時代に描かれた絵図。	購入
	運送問屋仲 ヶ間名前帳	古文書	1	京都市	文化9(1812)年～ 万延元(1860)年	高瀬川運送を中心とした運送問屋仲ヶ間の定書と名前帳。	購入

船井桑田両郡弓者御名前帳	古文書	1	丹波地域	寛政3(1791)年	丹波国船井郡・桑田郡の郷土格として苗字帯刀を許されてきた弓者連中の名前書。	購入
六方年行事関係資料	古文書	6	京都市	文久4年(1864)～慶応元(1865)年	京都の犯罪人の縄取り、牢屋敷詰めなどを担当する年行事および給銀等の経費を負担する町(年行事町)からの願書の一件。	購入
六方年行事諸事留	古文書	1	京都市	慶応元(1865)年	京都の犯罪人の縄取り、牢屋敷詰めなどを担当する年行事および給銀等の経費を負担する町(年行事町)からの願書等を写してまとめたもの	購入
園部藩士岩内家文書	古文書	13	南丹市	幕末から明治初期	園部藩士で坊主方・御徒・物書等を勤めた岩内家の文書。	購入
中台村文書	古文書	153	京丹波町(旧瑞穂町)	宝永6年(1709)～明治12年(1879)	江戸時代中期から明治初めまでの京都府京丹波町中台地区(旧瑞穂町)の村文書。	購入
林家旧蔵錦高倉四丁町青物立売商売関係資料	古文書	1	京都市	寛政12年(1800)～享和元年(1801)	洛中の商業地域である錦市場で壬生村などの近郊農家の百姓が青物(野菜類)立売商売をするために作っていた商売仲間に関する資料。	寄贈
下鴨の文化を子供たちに伝える会旧蔵絵図	古文書	3	京都市	明治期	明治期の下鴨村絵図2点、鎌倉時代の下鴨社の境内の様子を描いた下鴨社古図の写1点	寄贈

文書複製資料の収集・所蔵状況

資料区分	平成22年度収集			累計(平成23年3月31日現在)		
	文書群数	マイクロフィルム(リール数)	写真帳(冊数)	文書群数	マイクロフィルム(リール数)	写真帳(冊数)
古文書	-	-	-	556	1,388	2,205
行政文書	-	-	-	10	84	1,043
合計	-	-	-	566	1,472	3,248

(1) 整理・保存

a 古文書の整理

本年度、整理した古文書は、次のとおりです。

区分	文書群名(資料名)	形態	点数	備考
近世・近代	宮本守三家文書・乙	古文書	3,664	終了/公開
	中村家文書	古文書	63	終了/公開

平井氏旧蔵中村家文書	古文書	7	終了 / 公開
塩見氏旧蔵元北小路町木札	木札	1	終了 / 公開
檜垣家文書	古文書	223	終了 / 公開
洛中洛外御巡見場所留書	古文書	1	終了 / 公開
室町頭南半町文書	古文書	1	終了 / 公開
京都堅木地職仲ヶ間定書	古文書	1	終了 / 公開
陵所絵図	古文書	1	終了 / 公開
運送問屋仲ヶ間名前帳	古文書	1	終了 / 公開
船井桑田両郡弓者御名前帳	古文書	1	終了 / 公開
六方年行事関係資料	古文書	6	終了 / 公開
六方年行事諸事留	古文書	1	終了 / 公開
園部藩土岩内家文書	古文書	13	終了 / 公開
中台村文書	古文書	153	終了 / 公開
林家旧蔵錦高倉四丁町青物立 売商売関係資料	古文書	1	終了 / 公開
下鴨の文化を子供たちに伝える 会旧蔵絵図	古文書	3	終了 / 公開
上野家文書	古文書		整理中

b 古文書の燻蒸

本年度は実施していません。

イ 写真資料

本年度、収集した写真資料は、次のとおりです。

写真資料名	点数	地域	年代	資料概要	受入経過
西坊氏 旧蔵写真	2	京都市	昭和期	左京区のマクリン幼稚園や下鴨小学校の旧校舎に関するもの。	寄贈

(イ) 整理・保存

a 写真資料の整理

本年度、整理した写真資料は、次のとおりです。

文書群名(資料名)	点数	備考
西坊氏旧蔵写真	2	終了 / 公開

ウ 行政文書

(ア) 収集

「京都府文書の保管、保存等に関する規程」第15条により永年保存文書の移管を、また、同規程第14条により有期限保存文書の引渡しを受けています。

本年度、移管及び引渡しを受けた行政文書は次のとおりです。

永年保存文書の移管		有期限保存文書の引渡し	
完結年度	点数	完結年度	点数
昭和59年度	1,847	昭和46年～平成16年度	420
過年度分(昭和28～58年度完結)	388		
合計	2,235		

また、これ以外に13点の資料を受け入れ、合計2,668冊の資料を収集しました。

(イ) 整理

京都府庁文書(永年)については、簿冊目録及び件名簿を作成しています。簿冊目録は、明治元年から昭和30年までは冊子目録、昭和31年以降はカード目録、昭和55年度以降は冊子目録を行政組織別に編成しています。

また京都府庁文書(有期)について、事業内容などで資料群にまとめ、群ごとに冊子目録を作成・公開しました。

本年度、作成した目録は、次のとおりです。

文書群名	目録の種類	完結年度	点数
京都府庁文書(永年)	件名目録	昭和58年度	956
京都府庁文書(永年)	簿冊目録	昭和59年度	1,847
京都府庁文書(永年)	簿冊目録	昭和28～58年度	388
京都府庁文書(有期)	簿冊目録 件名目録	大正2～ 昭和30年度	316

また、京都府庁文書以外に下記の資料を整理公開しました。

資 料 名	形態	整理概要	点数
京都市明細図	紙	目録作成 装備	291
地籍図	紙	目録作成 装備	243

(ウ) 保存

a 資料の保護

いたみの激しい文書や酸性劣化のおそれのある文書を中性紙の封筒及び専用保存箱に収納したり、データ化することにより代替物での閲覧提供を可能とすることで、文書の更なる損傷を予防するとともに、データのバックアップを行い、資料情報の安全な保存に努めました。

資 料 名 等	原本の点数	複製物の概要
疎開建物除却工事並庁内疎開其他一件綴(昭 19-0109)	1	データ・A3版紙焼き
第3次建物疎開(昭 19-0117)	1	データ・A3版紙焼き
第3次建物疎開(昭 20-0108-001)	1	データ・A3版紙焼き
第3次建物疎開(中立売)(昭 20-0108-002)	1	データ・A3版紙焼き
第4次建物疎開(中立売)(昭 20-0109-001)	1	データ・A3版紙焼き
第4次建物疎開(中立売)(昭 20-0109-002)	1	データ・A3版紙焼き
第3次建物疎開(昭 20-0110-001)	1	データ・A3版紙焼き
第3次建物疎開(西陣)(昭 20-0110-002)	1	データ・A3版紙焼き
第4次建物疎開(西陣)(昭 20-0111-001)	1	データ・A3版紙焼き
第3次建物疎開(昭 20-0112-001)	1	データ・A3版紙焼き
第3次建物疎開(松原)(昭 20-0112-002)	1	データ・A3版紙焼き
第4次建物疎開(松原)(昭 20-0113-001)	1	データ・A3版紙焼き
第4次建物疎開(松原)(昭 20-0113-002)	1	データ・A3版紙焼き
第3次建物疎開(堀川)(昭 20-0114-002)	1	データ・A3版紙焼き
第3次建物疎開(堀川)(昭 20-0114-003)	1	データ・A3版紙焼き
第3次建物疎開(堀川)(昭 20-0114-005)	1	データ・A3版紙焼き
第4次建物疎開(堀川)(昭 20-0115-001)	1	データ・A3版紙焼き
第4次建物疎開(堀川)(昭 20-0115-002)	1	データ・A3版紙焼き
第4次建物疎開(堀川)(昭 20-0115-003)	1	データ・A3版紙焼き
第4次建物疎開(堀川)(昭 20-0115-004)	1	データ・A3版紙焼き
第4次建物疎開(堀川)(昭 20-0115-006)	1	データ・A3版紙焼き
第3次建物疎開(昭 20-0116-001)	1	データ・A3版紙焼き
第3次建物疎開(五条)(昭 20-0116-002)	1	データ・A3版紙焼き
第4次建物疎開(五条)(昭 20-0117-001)	1	データ・A3版紙焼き
第4次建物疎開(五条)(昭 20-0117-002)	1	データ・A3版紙焼き
第3次建物疎開(昭 20-0118-001)	1	データ・A3版紙焼き
第3次建物疎開(七条)(昭 20-0118-002)	1	データ・A3版紙焼き
第1次建物疎開関係綴総括表(昭 20-0126)	1	データ・A3版紙焼き
第1次建物疎開(昭 20-0127)	1	データ・A3版紙焼き

進駐軍事故見舞金支出負担行為書(昭27-0087-001~4)	4	データ・A4版紙焼き
官国幣社神社嘗繕一件(大09-0049)	1	データ・A4版紙焼き
地籍図1~6	6	データ・紙焼き
京都市明細図	291	データ
在日朝鮮人業務復命書綴ほか	11	A4版紙焼きほか

重要文化財京都府行政文書修理事業の成果物を含む

b 文書の移動

平成22年4月14日及び12月21日に、旧周山保健所庁舎の行政文書文書庫に、計757点の行政文書を移動しました。

(3) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する財団法人京都文化財団に業務委託して収集した美術工芸資料は141点で、明細は次のとおりです。

部門		資 料 名	点数	区分	寄贈者名
美術 工芸 資料	染 織	麻田脩二「軌A」他	5点	寄贈	麻田脩二様
		「俵屋宗達の風神雷神図」他	6点	寄贈	(株)佐波理様
		五節舞衣装、打掛他	3点	寄贈	本咲利郎様
		着物・帯	2点	寄贈	廣海春木様
	陶磁器	伊東慶「あじさい」	1点	寄贈	伊東慶様
		市川廣三「蒼釉陶器」他	13点	寄贈	市川美紗子様
		竹中浩「金銀彩梅文筆管」他	5点	寄贈	竹中浩様
	漆 芸	望月重延「球茎」他	4点	寄贈	望月重延様
	日本画	岩澤重夫「堰」	1点	寄贈	岩澤有径様
		堂本元次「晨暉」他	87点	寄贈	堂本雅子様
		曲子光男「浄雪」他	5点	寄贈	曲子光男様
		足立家伝来書画資料	1式	寄贈	足立純一様
	洋 画	齋藤眞成「広場(スペイン)」他	5点	寄贈	齋藤眞成様
	版 画	「自刻自摺木版画 京洛工匠図絵」他	2点	寄贈	加藤壽美子様
歴史民俗資料	樽・桶製作道具	1式	寄贈	高橋愛子様	
合 計			141点		

8 調 査

(1) 古 文 書

本年度、調査した文書は次のとおりです。

区分	調査名	調査先	期 間	関連地域	概 要
古代・中世	醍醐寺聖教調査	醍醐寺	平成22年 8月24・25日	京都市	醍醐寺聖教の名称、員数、書写年等の内容調査

近世・近代	近世領主関係文書調査	神戸市立博物館	平成22年 7月8日	京都市	京都所司代与力岡田家文書・京都町奉行所与力木村家文書・大坂町奉行所与力八田家文書
	近世村関係文書調査	個人	平成22年 7月14日	京都市	東九条村の庄屋文書他
	近世領主関係文書調査	個人	平成22年 7月29日	亀岡市	旗本知行地の地元代官の資料
	近世領主関係文書調査	個人	平成22年 8月31日	京都市	地下官人（今出川家(菊亭)の侍）の資料
	近代町関係資料調査	個人	平成22年 9月17日	京都市	元北小路町の戸長宅に保存されていた資料
	近世村・近代家関係文書調査	京都市右京区京北辻区公民館	平成23年 3月24日	京都市	北桑田郡辻村の庄屋宅に保存されていた資料

(2) 写真資料

本年度、調査した写真資料は次のとおりです。

番号	調査先	期 間	概 要
1	個人	平成22年 6月22日	昭和50年代の桂地域に関する写真アルバム等であったため関係機関を紹介した。
2	個人	平成23年 1月25日	京都大学元教授留学時期のベルリンで撮影されたガラス乾板、角田文衛氏旧蔵の土器破片等のガラス乾板であったため関係機関を紹介した。
3	個人	平成23年 2月2日	左京区のマクリン幼稚園や下鴨小学校の旧校舎に関するもの。

(3) 行政文書

京都府文書の保管・保存等に関する規程に基づき、各課(室)から総務調整課に引き継がれた文書の内、保存年数が経過した有期限保存文書(平成元年度完結20年保存、平成11年度完結10年保存等)2,905点から440点を選別しました。

また各課共用書庫に保管された平成16年度完結5年保存文書の内、保存年数が経過して廃棄対象となった有期限保存文書197点の文書を選別しました。

さらに、本庁各課から廃棄する際に直接連絡のあった文書についても選別を行いました。併せて、文書の引渡目録等を作成しました。

今年度の調査選別の状況は、次表のとおりです。

調査選別先 (主務課名)	調査選別の時期	調査選別の概要
総務調整課書庫	平成22年度中	保存年数が経過した、平成元年度完結20年保存文書、平成11年度完結10年保存文書等の有期限保存文書2,905点について選別収集。
府庁2号館地下各課共用書庫	平成22年度中	平成16年度完結5年保存文書等の有期限文書について選別収集。

9 閲 覧

(1) 図書資料

ア 図書閲覧室

京都に関する専門的な調査研究のための閲覧室で290席あります。開架図書約5万冊を自由に利用できるほか、書庫内の図書資料は閲覧請求のうえ利用できます。

本年度の利用者数は55,278人(1日平均174人)、書庫出納冊数は57,137冊でした。

イ 学習室

自習室で140席あります。本年度の利用者数は28,074人(1日平均88人)でした。

閲覧室等利用状況

年 月	開館 日数	図書閲覧室 (1日あたり)	学 習 室 (1日あたり)	書 庫 出納冊数	図書資料の相談件数			
					口頭	電話	文書	
	日	人 (人)	人 (人)	冊	件	件	件	件
22年4月	28	4,029 (144)	1,802 (64)	4,081	921	790	119	12
5	27	4,210 (156)	2,256 (84)	4,777	1,050	886	142	22
6	29	4,507 (155)	2,388 (82)	5,629	1,130	970	131	29
7	29	5,631 (194)	3,024 (104)	4,788	970	858	91	21
8	30	6,827 (228)	3,942 (131)	4,692	1,258	1,113	115	30
9	25	4,708 (188)	2,406 (96)	5,932	1,041	936	88	17
10	18	2,760 (153)	1,426 (79)	4,132	731	600	111	20
11	27	4,467 (165)	1,966 (73)	4,900	1,116	930	145	41
12	25	4,050 (162)	2,134 (85)	3,978	916	812	86	18
23年1月	25	4,539 (182)	2,196 (88)	5,084	1,133	988	125	20
2	26	4,797 (185)	2,352 (90)	4,746	1,149	1,001	127	21
3	29	4,753 (164)	2,182 (75)	4,398	1,014	848	144	22
計	318	55,278 (174)	28,074 (88)	57,137	12,429	10,732	1,424	273

ウ 図書資料の相談

所蔵資料の有効な利用を図るため、資料の利用案内や調査・研究の支援等の相談業務を行っています。図書閲覧室のカウンターでの相談のほか、電話・文書等による相談にも応じています。

本年度の相談状況は、次のとおりです。

	館利用 案内	複写 依頼	特定図書 の 所蔵調査	図書に 関 する書誌 的調査	人名・地 名等の読 み方調査	人物・ 団 体 調 査	内 容 調 査	その他	計
口頭	4,601	3,217	1,303	138	11	113	931	418	10,732
電話	279	149	520	29	19	78	243	107	1,424
文書	15	126	35	5	1	19	44	28	273
計	4,895	3,492	1,858	172	31	210	1,218	553	12,429

〔 相談事例 〕

○京大演習林のある場所で昔、発電所(ダム)計画があったらしい。この計画の発表後の経緯が知りたい。

【回答】

1965年に関西電力の揚水式発電所としてダムが計画された。計画発表後の経緯や年表については『森の通い帳 芦生への招待』に詳しく記載されている。なお『由良川源流芦生原生林生物誌』によると、2005年に計画は撤回されている。

【回答プロセス】

京都府立総合資料館・京都府立図書館の蔵書検索システムで、キーワードを「演習林」で検索し、演習林の資料を見るが情報はなかった。演習林の名称が「芦生演習林」だったので、あらためて京都府立総合資料館・京都府立図書館の蔵書検索システムで、タイトルを「芦生」で検索すると、『由良川源流芦生原生林生物誌』にこの演習林にダムの計画があったことが簡単に書かれていた。また『森の通い帳 芦生への招待』には計画の経緯が詳しく書いてあった。

【参考資料】

『由良川源流芦生原生林生物誌』 渡辺弘之著 ナカニシヤ出版 2008 10,168p 当館請求記号：K333/462.16/W46

『森の通い帳 芦生への招待』 芦生のダム建設に反対する連絡会編刊 1990 32p 当館請求記号：K333/517.7/A92

○京都御所の紫宸殿に隣接している「左近陣座」という建物が、江戸時代に御所のどの辺りにあったのか知りたい。

【回答】

『平安京提要』p124-128に内裏の図が掲載されており、「紫宸殿」と「左近陣座」の位置についての説明が書かれていた。また、『翻刻安政御造営図志 二』p64には安政期(1854-1859年)の「左近陣座」の図が掲載されており、『京都御所』図版34-41には慶長～寛政期(1591-1800年)の内裏平面図が掲載されていた。これらの図で紫宸殿や左近陣座の位置が確認できる。

【回答プロセス】

京都府立総合資料館・京都府立図書館の蔵書検索システムで、キーワードを「御所」「内裏」「紫宸殿」で検索し、ヒットした資料を確認した。また、それらの資料の周辺の棚をブラウジングしたところ、『平安京提要』p124に内裏の図が掲載されており、紫宸殿と左近陣座の位置を確認することができた。また、『翻刻安政御造営図志 二』p64に安政期(1854-1859年)の左近陣座の図が掲載されていた。

なお、『京都御所』には慶長～寛政期(1591-1800年)までの内裏平面図が掲載されており、紫宸殿や左近陣座の位置が確認できる。

【参考資料】

『平安京提要』 古代学協会編 角川書店 1994 1059p 当館請求記号：K1/210.36/Ts82
『翻刻安政御造営図志 二』 庄司成男編 宇土條治 2005 139p 当館請求記号：
K1/521.82/Sh96
『京都御所』 藤岡通夫著 中央公論美術出版 1987 350p 当館請求記号：K111/521.82/F65

○昭和25年7月の第8回国会で可決された京都国際文化観光都市建設法は、同年9月20日に実施した住民投票の結果成立したが、この投票の結果を知りたい。

【回答】

昭和26年の『京都市観光事業概要』p65に、住民投票の結果、過半数の賛成投票を得て昭和25年10月22日に同法が公布施行されたと記載されている。投票率は3割1分で、賛成132,263票、反対58,261票となっている。また、昭和25年9月22日の『京都市公報』にも同様の投票結果が掲載されている。

【回答プロセス】

質問者によると、『文化観光都市京都の建設え』の裏表紙に「住民投票 9月20日」と記載されているとのことだった。

『文化観光都市京都の建設え』を刊行した、京都市文化観光局が作成する資料を中心に調査したところ、1951年発行の『京都市観光事業概要』に、京都国際文化観光都市建設法の成立についての解説が掲載されていた。この資料によると、投票率が3割1分、賛成132,263票、反対58,261票の賛成多数で同法が成立したとされている。

また、昭和25年9月22日の『京都市公報』（号外第35号）の「京都市選管告示第15号」の項に、賛成・反対票数等が記載されている。

【参考資料】

『文化観光都市京都の建設え』 京都市文化観光局編刊 1950 38p 当館請求記号：
MK1S/688.1/Ky6
『京都市観光事業概要』 京都市観光局編刊 1951 70p 当館請求記号：MK1/688.1/KY6
『京都市公報』 京都市編刊 1950 当館請求記号：MK1/318.56/Ky6

○東海道線の旧線に大塚信号所があった。現在の東海道線の東山トンネルが1921（大正10）年にできて大塚信号所はなくなったが、現在ではどの辺りになるのかを知りたい。

【回答】

大塚信号所があった場所は山科区大塚の妙見寺付近と思われる。妙見寺の南側にある大鳥居の奥に、現在も煉瓦づくりの引き込み線跡を見ることができる。

【回答プロセス】

JRや国有鉄道（国鉄）関係の資料を見てみると、『日本国有鉄道百年史』第6巻のp174-175に「大津京都間新旧線路対照図」があり、大塚信号所は当時の山科駅と大谷駅の間が存在していたことがわかる。また、大塚信号所の東京起点のマイル表示は「323M（マイル）」となっていた。この図の典拠である『大津京都間線路変更工事誌附図』を確認したところ、「附図一號」に平面図があり、「323M」の場所が大塚信号所だと思われる。

また、山科の大塚地域を記述した資料に『京都山科音羽・大塚・音羽川二千年の歩み』があり、この資料のp432-434「東海道線の開通と大塚地域」によると、「大塚地域は、当時の山科駅（小野）と大谷駅との中間にあたり、「信号所」が設けられ、また「引き込み線」もあったという」とあり、「現在、妙見寺の南側にある大鳥居の奥に、煉瓦づくりの引き込み線跡を見ることがで

きる」と記述されていて、この辺りに大塚信号所があったのではないかと思われる。

【参考資料】

『日本国有鉄道百年史』第6巻 日本国有鉄道編刊 1972 600,112p 当館請求記号：M/686.21/N71

『京都山科音羽・大塚・音羽川二千年の歩み』鏡山次郎著 つむぎ出版 2009 519p 当館請求記号：K142/216.2/Ka16

『大津京都間線路変更工事誌附図』鉄道省神戸改良事務所編刊 1923 1冊 当館請求記号：MK0/516.17/Te86

○京都の鴨川で友禪流しが行われていた時期を知りたい。

【回答】

鴨川での友禪流しは明治35年頃にはじまり、昭和30年以降は河川の水質汚染につながるため、次第に行われなくなった。昭和46年に水質汚濁防止法が施行され、鴨川で友禪流しをすることが禁止された。

【回答プロセス】

友禪流しとは染料を定着させるための糊を流す作業のことで、友禪染の製造工程のひとつとされる。

染織関係の資料をみていくと、以下の資料に記載があった。

『京都近代染織技術発達史』のp195-196に、西洞院川や堀川で「水洗」が行われていたが、次第に汚くなり布地の白い部分を汚すので、鴨川で水洗したところきれいに仕上がったという。これが鴨川での友禪流しの始まりとされ、おそらく明治35年頃とされている。『京都水ものがたり』のp26-28によると、友禪流しは明治時代に鴨川や堀川で行われていたが、昭和30年以降は河川の水質汚染につながるため、川では行われなくなったとされている。雑誌『染織α』255号（2002年6月）のp43-46によると、昭和46年の水質汚濁防止法の施行により友禪流しが禁止されたと記載されている。『近代友禪史』のp254-260によると、鴨川の水は水洗に最適とされ、明治末期には出町・荒神口・丸太町付近から下流は三条で、水洗の作業をすることが許可されていた。

ちなみに、『写真でみる京都100年』のp45によると、桂川での友禪流しは昭和40（1965）年まで続いたとされている。

現在では、和装振興のために京都染織青年団体協議会が毎年友禪流しを再現している。

【参考資料】

『京都近代染織技術発達史』京都近代染織技術発達史編纂委員会著 京都市染織試験場 1990 445p 当館請求記号：K1/586.72/KY6

『京都水ものがたり』平野圭祐著 淡交社 2003 169p 当館請求記号：K1/517.21/H66

『染織α』染織と生活社編刊 255号 2002年6月 当館請求記号：セソ

『近代友禪史』村上文芽著 芸艸堂 1927 8,307,15p 図版29枚 当館請求記号：K1/753.8/Y99

『写真でみる京都100年』京都新聞社編刊 1984 302p 当館請求記号：K1E/216.2/KY6

○小林古徑の作品の中で、墨で描かれたフランス人形の絵を掲載している資料をみたい。

【回答】

小林古徑の描いたフランス人形の絵の作品名は「人形」と思われる。「人形」は『現代日本美術全集 3』図8に部分が、『小林古徑作品図録』図版91と『小林古徑画集』図版137に全体が掲載されている。

【回答プロセス】

『日本美術作品レファレンス事典』（絵画篇 近現代）によると、p530に小林古径の作品「人形」昭和14（1939）年とあり、『現代日本美術全集 3』の図8に掲載されている。

『現代日本美術全集 3』の図8を確認すると、p42に「人形」が掲載されているが、「部分」となっている。また、解説によるとこの「人形」は「西洋人形」とされている。

京都府立総合資料館・京都府立図書館の蔵書検索システムで、キーワードを「小林古径」で検索し、ヒットした中で次の資料に当たった。

『小林古径作品図録』図版91に「人形」の全体図あり。

『小林古径画集』図版137に「人形」の全体図あり。

【参考資料】

『日本美術作品レファレンス事典』（絵画篇 近現代） 日外アソシエーツ株式会社編刊 1992 923p 当館請求記号：720.3/N71

『現代日本美術全集 3』 今泉篤男ほか編 角川書店 1955 79p, 図版98p 当館請求記号：E/720.8/Z1/3

『小林古径作品図録』 小林古径画 小林古径遺作展委員会編 中央公論美術出版 1961 1冊 当館請求記号：721.9/K012

『小林古径画集』 小林古径著 朝日新聞社 1981 1冊 当館請求記号：ト/721.6/K012

○大江山の植物である「タンゴグミ」について知りたい。

【回答】

『大江山草木誌』のp69にタンゴグミについての説明と写真が掲載されている。

【回答プロセス】

京都府立総合資料館・京都府立図書館の蔵書検索システムで、キーワードを「大江山」「福知山」「丹後」と「植物」をかけあわせて検索し、ヒットした資料に当たったところ、『大江山草木誌』のp69にタンゴグミについての説明と写真が掲載されていた。

この資料によると、タンゴグミはグミ科の植物で、大江山の蛇紋岩地に生える落葉低木とのこと。5～6月頃に開花し、果実は7～8月頃に熟す。

【参考資料】

『大江山草木誌』 大江山草木誌編纂委員会編刊 2010 242p 当館請求記号：K4.1/472.16/N71

○明治5年に開催された京都博覧会についての新聞記事をみたい。

【回答】

『京都新聞』明治5年4月（23号）p8「博覧会に出る鱧」、同年7月（35号）p2-4「博覧奇事」、同年8月（37号）p8「8月16日西六条博覧会の看客3200余人なり」、同年9月（42号）p1-2「博覧辨惑」の4つの記事が見つかった。

【回答プロセス】

『京都博覧会沿革誌』（[京都博覧協会編] 京都博覧協会 明36.12）などの資料は調査済みとのことだった。

明治5年に発行されていた『京都新聞』（西京新聞社）の記事を調査した。

※この『京都新聞』は、現在も発行されている『京都新聞』（京都新聞社）とは別のもの。

【参考資料】

『京都新聞』（明治5年1月～明治6年7月） 西京新聞社 当館請求記号：特/090/1

○元禄3（1690）年12月9日に京都で大火事があった。そのことについて記述されている資料をみたい。

【回答】

『日本災変通志』によると、元禄3年12月9日の京都大火は、新町通から出火し、南北二町、東へ六町余りが焼失したとされている。また、『火消暦』によると、禁裡付近より出火し、千余戸を焼失したとされている。

【回答プロセス】

災害史関連の資料を調べたところ、『日本災変通志』p398の元禄3年12月9日の項に、「京都火災（実記）」「京都大火。新町通り出火。南北二町、東へ六町余焼失す（年代著聞集七）」と記載されていた。

「実記」は『国史大系 第43巻 徳川実紀 第6篇』を参照したが、上記以上のことは記載されていなかった。また、「年代著聞集」は当館所蔵なしのため確認できなかった。

『火消暦』p23の元禄3年12月9日の項に、「京都大火、禁裡付近より出火、千余戸を焼失」と記載されていた。

【参考資料】

『日本災変通志』 池田正一郎著 新人物往来社 2004.12 746p 当館請求記号：210.17/132
『国史大系 第43巻 徳川実紀 第6篇』 黒板勝美編輯 吉川弘文館 1931 752p 当館請求記号：210.08/K053/43

『火消暦 自慶長6年（1601）至明治7年（1874）』 小池猪一著 国公立所蔵史料刊行会編 誠文図書 1979 72p 当館請求記号：Y/317.79/002082

○昭和2年に島津製作所の本社（現在は河原町別館）が京都市役所の北側にできたが、それ以前は何があったのか知りたい。

【回答】

『科学とともに百二十年』のp8によると、明治36（1903）年1月に上京区河原町二条南の敷地約4,950平方メートルを買収して、河原町工場を新築したと記載されていた。また、『島津製作所史』のp19にも同様の記述があり、買収前の土地は天理教教会と銅駝尋常小学校跡の敷地とされている。

さらに、『科学とともに100年』のp13に、明治8年の創業時と昭和50年現在の島津製作所本社の周辺地図があり、創業時には質問の建物があつた敷地の一部は、日蓮宗妙塔山妙満寺の一部だったとされる。

【回答プロセス】

分類535のあたりに配架されている島津製作所の年史などを調べた。

『京都市町名変遷史 4 御所周辺2』を調べたところ、p913に三条工場の建設について、p874に大正元年10月時点の河原町二条付近の土地所有者を記した図が記載されていた。

建築関係の資料を調べたところ、『京都市の近代化遺産』のp33に、島津製作所河原町別館について写真付きで記載されていた。

【参考資料】

『科学とともに百二十年』 島津製作所編刊 1995.11 153,26p 当館請求記号：K1/535.06/SH46

『島津製作所史』 島津製作所社史編集委員会編 島津製作所 1967 466,45,16p 当館請求記号：K13E/535/SH46

『科学とともに100年』 島津製作所編刊 1975 151p 当館請求記号：K13/535/SH46

『京都市町名変遷史 4 御所周辺2』 松本利治著 京都市町名変遷史研究所 1993.6
1119p 当館請求記号：K1E/291.62/MA81/4

『京都市の近代化遺産 近代建築編』 京都市文化市民局文化財保護課編刊 2006.6 255p 当館請求記号：K1/521.6/Ky6

○明治45年頃に存在した京都国技館の場所などについて知りたい。

【回答】

京都国技館の場所は千本三条の北東角で、明治45年6月1日に開館し、昭和8年まで存在したとされる。京都国技館の概要や写真については『京都・滋賀の相撲』p80-82、「京都市劇場史略図」（『近代歌舞伎年表 京都篇』別巻に収載）、『古写真で語る京都』p64、『千本組始末記』p43以降に記載されている。

【回答プロセス】

京都府立総合資料館・京都府立図書館の蔵書検索システムで、キーワードを「国技館」で検索したが、みつからなかった。

同システムで、キーワードを「相撲」で検索した資料を調べたところ、『京都・滋賀の相撲』のp80-82に、京都国技館の所在は「千本通三条東入」で、明治45年6月1日に開館したと記載されていた。この資料には、京都国技館の正面・内部写真、建物の概要や相撲についても記述されていた。

『京都府百年の年表』の総索引で「国技館」を調べたところ、同書第9巻（芸能編）の大正3年3月7日の項に、「明治45・6開館の京都国技館が解散となる（日出3・16）」と記載されていた。

インターネットで、キーワードを「京都国技館」「京都 国技館」で検索したところ、『近代歌舞伎年表 京都篇』の中に、歌舞伎の上演場所として国技館の名が記載されていた。また、同資料の別巻にある「京都市劇場史略図」をみると、国技館は千本三条の北東角に記されていて、明治45年5月から昭和8年まで存在した。

『古写真で語る京都』のp64に、京都国技館の写真が掲載されていて、建物の概略が簡単に記載されていた。また、『千本組始末記』のp43以降に京都国技館についての詳細が記載されていた。

【参考資料】

『京都・滋賀の相撲』 竹森章著刊 1996.3 545p 当館請求記号：K0/788.1/TA63

『京都府百年の年表』（10 総索引） 京都府立総合資料館編 京都府 1972 209p 当館請求記号：MK0/216.2/Ky6/10

『京都府百年の年表』（9 芸能編） 京都府立総合資料館編 京都府 1971 304p 当館請求記号：MK0/216.2/Ky6/9

『近代歌舞伎年表 京都篇』 国立劇場調査養成部芸能調査室近代歌舞伎年表編纂室編 八木書店 1995-2005 7冊 当館請求記号：K1/774.26/K142

『古写真で語る京都』 京都映像資料研究会編 淡交社 2004.3 278p 当館請求記号：K1/216.2/Ky6

『千本組始末記』 柏木隆法著 海燕書房 1992 482p 当館請求記号：K13/384.38/KA77

○京都府の木として北山杉が選ばれた経緯を知りたい。

【回答】

昭和41年9月17日の『京都新聞』によると、京都府の木を選定するため、7月20日～8月31日の期間に、府下在住者を対象に募集を行ったとされる。その結果、北山杉が25,359票、茶の木が

11,412票、高雄もみじが903票、しだれざくらが862票の応募があり、京都府の木に北山杉が決定した。また、『北山杉の今昔と古建築』にも同様のことが記載されている。

【回答プロセス】

京都府の行政関係の資料の分類である「MK0/318.26/Ky6」に配架されている資料を調べたところ、『府政のしおり』の裏表紙に「京都府の木（昭和41年9月16日制定）」とあり、北山杉の説明が記載されていた。

昭和41年9月16日前後の『京都新聞』を調べたところ、9月17日に京都府の木に北山杉が決定したことを伝える記事が掲載されていた。

京都府立総合資料館・京都府立図書館の蔵書検索システムで、キーワードを「北山杉」で検索し、その結果みつかった資料を調べたところ、『北山杉の今昔と古建築』のまえがきp4に、京都府の木について記載されていた。

【参考資料】

『府政のしおり』 京都府広報課[編]刊 2004.7 48p 当館請求記号：MK0/318.26/Ky6

『京都新聞』（マイクロフィルム版） 京都新聞社編刊 当館請求記号：マ/キヨ

『北山杉の今昔と古建築』 坂本喜代蔵著 大日本山林会 1987.1 258p 当館請求記号：K1/653.6/SA32

エ 資料紹介コーナー

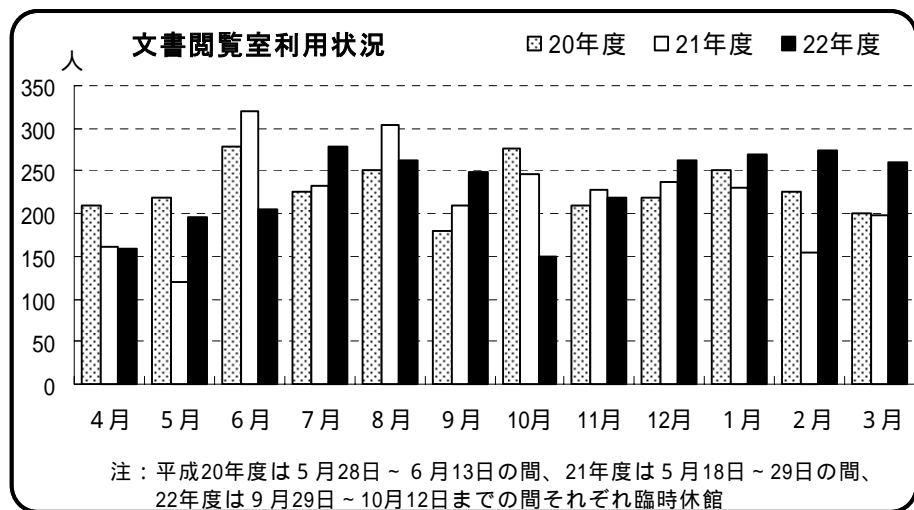
特定のテーマに関する図書や雑誌を集めた資料紹介コーナーを図書閲覧室に設け、総合資料館が所蔵する図書資料を広く紹介しています。

テーマ	期間
京都新聞連載「本の大路小路に紹介された本たち」	平成22年5月13日～6月8日
京都新聞連載「本の大路小路に紹介された本たち」2	平成22年10月14日～11月9日

(2) 文書資料

文書閲覧室は、古文書、行政文書、写真資料及び近代文学資料の閲覧室で、35席あります。閲覧室に配架してある東寺百合文書写真帳、京都府布令書や写真資料コピーを自由に利用できるほか、デジタル画像の閲覧(一部は閲覧申請が必要)ができます。また、書庫内の文書資料は閲覧申請のうえ利用できます。

本年度の利用者数は2,784人(1日平均9人)、書庫資料閲覧点数は14,965点(1日平均47点)でした。



ア 古文書の閲覧

(ア) 古代・中世文書の閲覧

館蔵文書は東寺百合文書（原本）が147人、184点、その他の原本閲覧は禅定寺文書等が2人、5点でした。文書複製資料は天竜寺文書等が、146人、1,377点で、その他閲覧室に配架している東寺百合文書写真帳の利用が36人あり、合計331人、1,566点の利用がありました。

(イ) 近世・近代文書の閲覧

館蔵文書は若杉家文書、中井家文書、古久保家文書、若杉家文書等が、500人、3,694点、寄託文書は谷口家資料、久多四堅家文書等が、65人、443点、文書複製資料は本光寺文書、森島国男家文書等が、23人、276点で、合計588人、4,413点の利用がありました。

イ 行政文書の閲覧

学術調査研究を目的とする一般の閲覧者は1,128人で6,104点の利用がありました。

また、府職員等の公務上の閲覧者は346人で2,185点の利用があり、閲覧者の合計は1,474人、利用冊数の合計は8,289点でした。

文書閲覧室の利用状況

年月	開館日数	利用者数													
		古文書					行政文書			写真資料			近代文学資料	その他	合計
		古代・中世 閲覧	東寺百合文書 写真帳	小計	近世・近代	計	一般閲覧	公務	計	閲覧	写真資料コピー及びデジタル画像	計			
													(日)	(人)	(人)
22年4月	28	9	2	11	28	39	73	16	89	0	0	0	0	30	158
5月	27	31	8	39	41	80	51	30	81	0	3	3	7	24	195
6月	29	15	3	18	58	76	76	27	103	0	3	3	4	20	206
7月	29	11	1	12	86	98	93	37	130	1	0	1	5	44	278
8月	30	46	4	50	60	110	70	28	98	3	1	4	0	51	263
9月	25	21	4	25	45	70	93	31	124	0	0	0	4	50	248
10月	18	11	1	12	50	62	52	19	71	0	0	0	0	17	150
11月	27	21	2	23	55	78	84	28	112	0	2	2	1	26	219
12月	25	48	2	50	78	128	95	22	117	0	0	0	0	18	263
23年1月	25	11	3	14	28	42	170	29	199	0	0	0	2	27	270
2月	26	11	0	11	31	42	166	38	204	2	0	2	2	24	274
3月	29	60	6	66	28	94	105	41	146	2	0	2	1	17	260
合計	318	295	36	331	588	919	1,128	346	1,474	8	9	17	26	348	2,784

年月	開館 日数	書庫資料閲覧利用数								
		古文書			行政文書			写真 資料	近代 文学 資料	合計
		古代 ・ 中世	近世 ・ 近代	計	一般 閲覧	公務	計			
(日)	(点)	(点)	(点)	(点)	(点)	(点)	(点)	(点)	(点)	
21年4月	28	70	144	214	435	121	556	0	0	770
5月	27	198	207	405	264	131	395	0	281	1,081
6月	29	66	277	343	465	149	614	0	157	1,114
7月	29	63	690	753	464	350	814	21	149	1,737
8月	30	161	730	891	369	164	533	9	0	1,433
9月	25	284	577	861	528	149	677	0	4	1,542
10月	18	76	396	472	314	66	380	0	0	852
11月	27	102	391	493	547	158	705	0	10	1,208
12月	25	74	496	570	428	170	598	1	4	1,173
22年1月	25	45	133	178	879	217	1,096	0	20	1,294
2月	26	154	140	294	828	188	1,016	9	14	1,333
3月	29	273	232	505	583	322	905	15	3	1,428
合計	318	1,566	4,413	5,979	6,104	2,185	8,289	55	642	14,965

(3) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する財団法人京都文化財団に管理委託している美術工芸資料等の現物資料については、調査研究のため特に必要な場合、特別観覧に供しています。

本年度は、合計13件、90点の特別観覧がありましたが、主なものは次のとおりです。

申請者の区分	部 門	資 料 名	点 数
個人	陶 芸	伊東陶山「宝船置物」他	4点
個人	日本画	「一富士二鷹三茄子図」他	2点
個人	日本画	多村挙秀「七難図巻」	1点
個人	陶 芸	帯山与兵衛 「栗田焼色絵旭日群鶴図花瓶」他	3点
個人	日本画	源琦作品 他	8点
個人	日本画	「伝吉野太夫図」他	8点
個人	日本画	池大雅「柳下童子図」他	3点
個人	風 俗	雪駄（吉川観方コレクション）	12点
個人	歴 史	有馬新七墨跡 他	2点

10 東寺百合文書の翻刻

東寺百合文書をより広く利用してもらうため、翻刻して活字化する史料集の刊行を平成15年度に開始しました。本年度はその第8巻を刊行しましたが、概要は次のとおりです。

書 名 「東寺百合文書 八」

内 容 二函の一部112点・ホ函103点・ト函の一部75点。巻末に花押一覧を収録

体 裁 A 5 判 448頁
 定 価 9,975円（本体価格 9,500円）
 編 集 京都府立総合資料館
 発 行 (株) 思文閣出版
 発行日 平成22年10月1日

11 共同研究等（再掲）

（1）大学等研究機関との共同研究

当館所蔵資料等について、平成14年度（平成13年度は共同の事前調査）から府立大学文学部史学科との間で共同研究を行っています。本年度は、次のとおり、時代別研究を継続して行うとともに、これまでの近世部門の研究成果を公表しました。

また、京都府立大学や立命館大学歴史都市防災センターなどと協力しつつ、京都市明細図の検討を進めました。

◎時代別研究

時代	研究テーマ	対象資料	備 考
近世	近世広域行政機関（京都町奉行所等）文書の研究	「寛文八年 町代役之覚」（古久保家文書） 「起源」（古久保家文書）	府立大学大学院講座「地域史研究」において対象資料の解読分析

◎成果公表

近世部門資料翻刻

方法	資料名
資料館紀要による成果報告（京都町奉行所関係資料集三として解読文を掲載）	「寛文八年 町代役之覚」（古久保家文書） 「宝暦五年仲ヶ間勤方并年寄・町用人勤方御尋二付書上候控」（古久保家文書） 「明和三年 諸事覚」（古久保家文書）

（2）学会等視察受入れ

受入年月日	受入学会等名	受入者数
平成22年8月17日	日本古文書学会	31名
平成23年1月27日	北京清華大学等	6名
平成23年3月29日	日本古文書学会	27名

（3）大学学外授業等の受入れ

各大学の史料講読などの学外授業等に協力し、文献資料、古文書、行政文書等の概要および閲覧制度、資料の取扱いなどに説明した後、実際に資料の閲覧をしていただきました。

受入年月日	受入大学名	受入学生数
平成22年5月7日	佛教大学文学部	38名
平成22年7月2日	京都府立大学文学部	30名

平成22年7月3日	追手門学院大学学芸員課程	14名
平成22年12月9日	京都工芸繊維大学造形工学部門	16名
平成22年12月10日	京都府立大学文学部	30名

(4) 大学への出講

立命館大学文学部の古文書実習、京都府立大学文学部の博物館実習講義(学芸員課程)、京都工芸繊維大学の「歴史学」講義に出講(通年)しました。

(5) その他

歴史資料課職員が、京丹後市史編さん専門部会(近世・近代)の部員として、5回の調査に出席しました。

12 図書館実習・インターンシップ

司書資格取得を目指す学生を対象とした図書館実習及び将来へ向けての職場体験を目的としたインターンシップを次のとおり受け入れました。

(1) 図書館実習

同志社女子大学学生	2名	7月6日～9日	4日間
同志社大学学生	2名	8月17日～20日	4日間
龍谷大学学生	2名	8月24日～27日	4日間

(2) インターンシップ

立命館大学学生	2名	8月30日～9月2日、13日、14日	6日間
---------	----	--------------------	-----

13 館蔵資料の撮影と複写

館蔵資料を調査研究、出版等に使用するための特別撮影及び利用は459件、1,140点でした。また、館蔵資料の複写利用は13,477件、332,564枚でした。

特別撮影及び利用状況

資料種別	件数	点数
図書資料	129件	274点
文書資料	287	799
古文書	93	238
行政文書	172	456
写真資料	16	85
近代文学資料	6	20
管理委託現物資料	43	67
合計	459	1,140

複写状況

資料種別	複写種別		件数	枚数
図書資料	電子式複写	白黒	12,707 件	244,878 枚
		カラー		7,323
	マイクロ複写			38,667
	マイクロリタープリンター			6,249
	デジタル画像プリント			425
	小計			12,707
文書資料	電子式複写	白黒	770	15,747
		カラー		908
	マイクロ複写			17,177
	マイクロリタープリンター			895
	デジタル画像プリント			295
	小計			770
合計			13,477	332,564

14 資料の貸与

本年度、展覧会の展示等のため、次のとおり館蔵資料の館外貸与を行いました。

(1) 図書資料

本年度は、次のとおり、合計12件、277点の貸与を行いました。

貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
京都府立山城郷土資料館 企画展「万葉集と“やましろ” ーその景観と歌木簡ー	「萬葉集（西本願寺本）」（解説とも）	21
	「萬葉集」（寛永20刊）	20
	「萬葉集 20巻」（寛永20刊）	20
	「万葉集」（文化2刊）	12
	「萬葉集略解 20巻」（文化9刊）	30
	「萬葉拾穂抄」（元禄3刊）	30
	「詞林采葉集」（貞治元写）	5
	「百人一首像讃鈔 2巻」（延享3刊）	2
	「百人一首増補繪抄」	1
	「三十六歌仙」（大正6刊）	2
	「三十六歌仙 上」（明治34刊）	1
京都市学校歴史博物館 企画展「学童集団疎開の記憶」	「集団疎開日誌 恵光寺」	1
立命館大学アトリサーチセンター 「うつしだされる島原」	都踊寫真帖 昭和4年	1
	都踊寫真帖 昭和5年	1
	島原太夫道中しるべ	1
	京都八坂女紅場財団法人寄付行為並ニ処務細則	1
	組合規約謄本	1

南丹市立文化博物館 夏季特別展「鉄道 ～果てしなく続く路～」	京都鉄道線路園部八木附近名勝案内記 京都鉄道名勝案内 洛東洛西洛南洛北京名所交通図会 日本鳥瞰近畿東海大図絵 京都名所洛西遊覧交通図絵 舞鶴鉄道京都・土山両線得失比較ニ就テ 京都舞鶴間鉄道敷設ノ義ニ付意見書	1 1 1 1 1 1 1
南丹市日吉町郷土資料館 夏季特別展「鉄道 ～果てしなく続く路～」	国鉄山陰本線複線電化調査報告書 国鉄山陰本線複線電化調査報告書 山陰本線の整備促進方策 提言 山陰本線の複線電化について	1 1 1 1
京都府立丹後郷土資料館 夏季企画展「国分寺再興 ～中世丹後国分寺と律宗寺院～」	日本高僧伝 (巻之五十九、巻之六十一収録冊)	2
高松市歴史資料館 企画展「ものがたりをよむ方法 －伊勢・源氏・平家物語を楽しもう」	伊勢物語闕疑抄 2巻 あつもり 2巻 御伽文庫 23篇	1 1 39
京都市美術館 京都市立芸術大学創立130周年記念展 「京都日本画の誕生-巨匠たちの挑戦」	閣竜世界博覧会美術品画譜 第3集	1
高槻市立しろあと歴史館 秋季特別展 「幕末 京都をめぐる雄藩と高槻 －黒船来航から 鳥羽・伏見の戦いまで－」	川々御普請定法書 亞米利加ペルリ上陸圖	1 1
齋宮歴史博物館 特別展「賀茂齋院と伊勢齋宮」	一代要記 (内:乙上 三(光仁～聖和)) 百練抄 (内:第十二) 長秋記 (内:大治四年三月-六月) 山塊記 (内:治承四年四月)	1 1 1 1
大山崎町歴史資料館 企画展「幕末・維新期の大山崎」	上野右内治水記録 上野右内治水設計図 嘉永・安政・文久・明治 珍事集 攝津名所圖會	6 4 12 1
向日市文化資料館 特別展「幕末・維新の乙訓をゆく」	維新摺物・降札砂事摺物 嘉永・安政・文久・明治 珍事集 討幕軍の錦布切 ([佐々木惣一博士関係資料]の内)	26 14 3
		277点

(2) 文書資料

ア 古文書

本年度は、次のとおり、合計9件、25点の貸与を行いました。

区分	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	冊数
古代・中世	滋賀県立安土城考古博物館 / 平成 22 年度秋季特別展「室町最後の将軍 - 足利義昭と織田信長 - 」	東寺百合文書 / 革嶋家文書	10
	京都国立博物館 / 特別展覧会「高僧と袈裟」	東寺百合文書	1
	山梨県立博物館 / 開館 5 周年記念特別展「甲斐源氏 - 列島を駆ける武士団 - 」	東寺百合文書	2
	新見美術館 / 新見美術館開館 20 周年記念 国宝「たまかき書状」特別公開「たまがきと新見庄」展	東寺百合文書	1
近世・近代	名古屋市博物館 / 特別展「変革のとき 桃山」	中井家文書	2
	亀岡市文化資料館 / 第 26 回特別展「丹波亀山城～天空にそびえる五重天守！～」	城郭図	4
	大阪市立美術館 / 特別展「住吉さん - 住吉大社 1800 年の歴史と美術」	中井家文書	1
	京都市立芸術大学 / 京都市立芸術大学創立 130 周年記念「京都日本画の誕生」	後素協会沿革一件資料	1
	亀岡市文化資料館 / 第 26 回特別展「明智光秀・亀山城・城下町」	絵図資料・及川家文書	3

イ 行政文書

本年度は、次のとおり、合計 5 件、20 点の貸与を行いました。

貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
南丹市立文化博物館 夏季特別展「鉄道」	京都鉄道二関スル書類 ほか	11
亀岡市文化資料館 第 26 回特別展夏の巻「丹波亀山城」	丹波三郡旧城郭取調一件 ほか	2
亀岡市文化資料館 第 26 回特別展秋の巻「丹波亀山城下町」	山県参議榎村議官差出調書控 ほか	4
国立歴史民俗博物館 企画展「武士とは何か」	卒明細短冊	2
島根県立古代出雲歴史博物館 企画展「古代出雲の壮大な交流」	国幣中社 出雲神社明細帳	1

ウ 近代文学資料

本年度は、次のとおり、合計 3 件、40 点の貸与を行いました。

貸与先及び展覧会等の名称	資料名	冊数
高知県立文学館「吉井勇没後 50 年展～吉井勇と四国路・新資料とともに～」	「佐藤春夫書状」ほか	14

八幡市立松花堂庭園・美術館「歌人・吉井勇— 八幡に遺る面影」	原稿「残夢」ほか	18
逸翁美術館「与謝野晶子と小林一三」	与謝野晶子歌帖「源氏物語礼讃」 ほか	8

(3) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する財団法人京都文化財団に管理委託している美術工芸資料等の現物資料については、合計27件94点の貸与を行いました。

主な貸与先等は次のとおりです。

貸出先及び展覧会等の名称	部 門	資 料 名	点数
高知県立歴史民俗資料館 NHK大河ドラマ特別展「龍馬伝」	歴 史	坂本龍馬書簡集 ほか	2
長崎歴史文化博物館 NHK大河ドラマ特別展「龍馬伝」	歴 史	坂本龍馬書簡集 ほか	2
パリ日本文化会館 「近代日本工芸1900-1930 —伝統と変革のはざまに」展	陶 芸	五代清水六兵衛 「音羽焼海鳥文花瓶」 ほか	3
京都市立芸術大学 「京都日本画の誕生—巨匠たちの挑戦」展	日本画	今尾景年「四時花木群蟲図」	1
和泉市久保惣記念美術館 数の美術—数えて楽しむ東アジアの美術」展	日本画	池大雅 「一富士二鷹三茄子図」 ほか	2
財団法人中信美術奨励基金 第23回京都美術文化賞受賞記念展	版 画	田島征彦「幸せな小作人」	1
愛知県陶磁資料館 「明治の人間国宝—帝室技芸員の技と美 清風與平・宮川香山から板谷波山まで—」展	陶 芸	初代伊東陶山 「色絵宝船置物」 ほか	5
一宮市博物館 第10回川井玉堂展「玉堂の学んだ京都画壇」	日本画	幸野樸嶺「魯秋潔婦図」	1
岐阜市歴史博物館 「洛中洛外図に描かれた世界」展	陶芸他	「色絵笙形掛花入」 ほか	3
奈良県立美術館 「小袖～近代服飾の華」展	染 織	帷子 白麻地雲菱紋散らし繡文様 ほか	4
姫路市立美術館 池田遙邨展	日本画	池田遙邨「堤」	1
京都市美術館 独立美術京都春季展 「特集作家VOL.1 芝田 米三」	洋 画	芝田米三「収穫賛歌」 ほか	7
府中市美術館 「江戸の人物画—姿の美、力、奇」展	日本画	池大雅「柳下童子図」	1
東京芸術大学大学美術館 「香り かぐわしき名宝」展	日本画	池大雅「蕙石図」 ほか	4

15 図書館間相互貸出

(1) 府内公共図書館等

平成4年7月に開始した府内の公共図書館等との図書の相互貸借については、本年度、24館、89冊の貸出し、4館、44冊の借受けを行いました。明細は次のとおりです。

貸借先館名	貸出冊数	借受冊数	貸借先館名	貸出冊数	借受冊数
京都府立図書館	9冊	38冊	京丹波町中央公民館図書室	9	—
長岡京市立図書館	2	—	福知山市立図書館中央館	1	—
宇治市中央図書館	6	1	舞鶴市立西図書館	6	—
宇治市東宇治図書館	9	—	宮津市立図書館	1	—
八幡市立八幡市民図書館	9	—	京丹後市立峰山図書館	5	—
木津川市立中央図書館	1	—	京丹後市立大宮図書室	1	—
木津川市立加茂図書館	3	—	京丹後市立あみの図書館	1	—
笠置町中央公民館図書室	1	—	京丹後市立丹後図書室	1	—
精華町立図書館	—	3	京都市右京中央図書館	4	2冊
亀岡市立図書館中央館	3	—	京都市醍醐中央図書館	4	—
南丹市立中央図書館	8	—	京都市醍醐図書館	1	—
南丹市日吉図書室	3	—	京都市久我のもり図書館	1	—
計				89冊	44冊

(2) 国立国会図書館

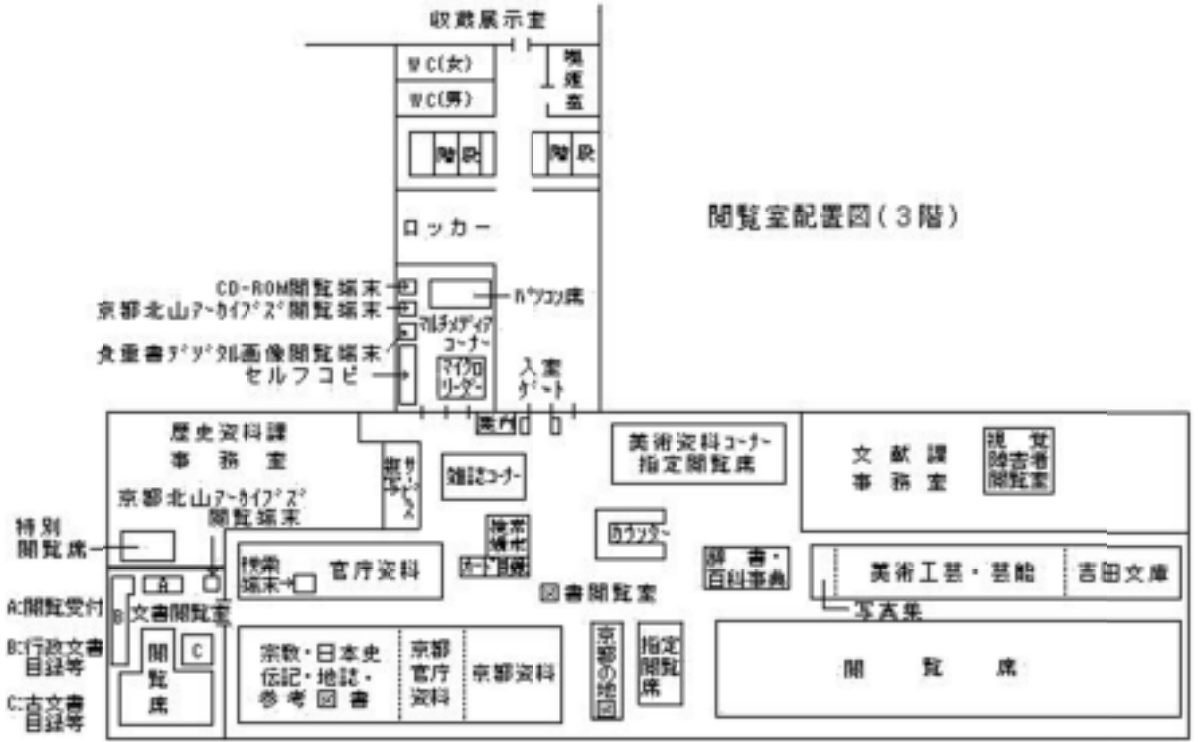
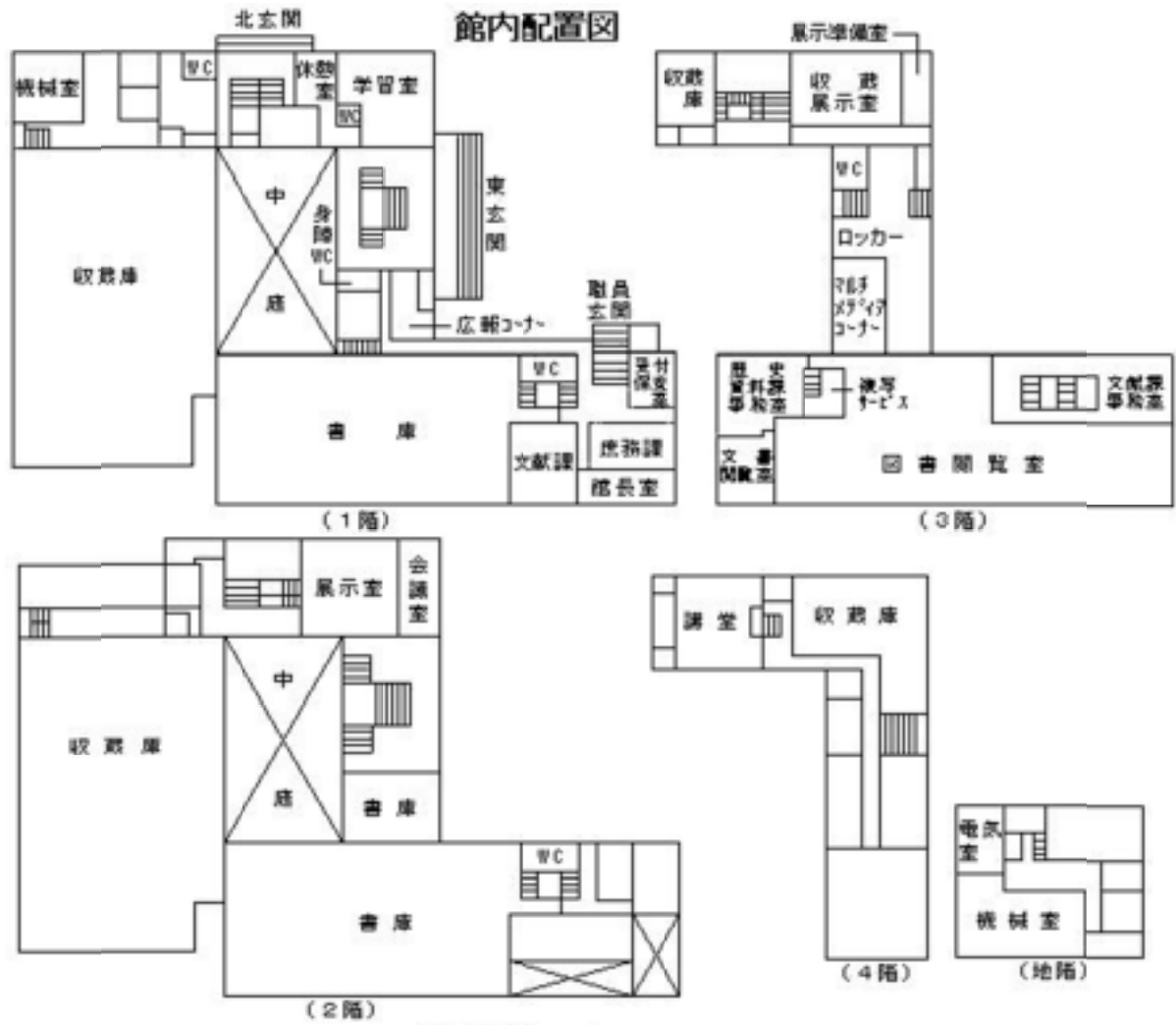
昭和61年7月から国立国会図書館所蔵図書の借受け・閲覧サービスを行っていますが、本年度の借受利用は、1件、1冊でした。

16 施設の状況

敷地面積	13,911.95㎡		
建物面積	4,501.57㎡	延 13,743.33㎡	
建設費	建物及び造園工事費	54,178万円	内部設備費 15,007万円
	計 69,185万円		
構造	鉄筋コンクリート 一部鉄骨 地上4階 地下1階		

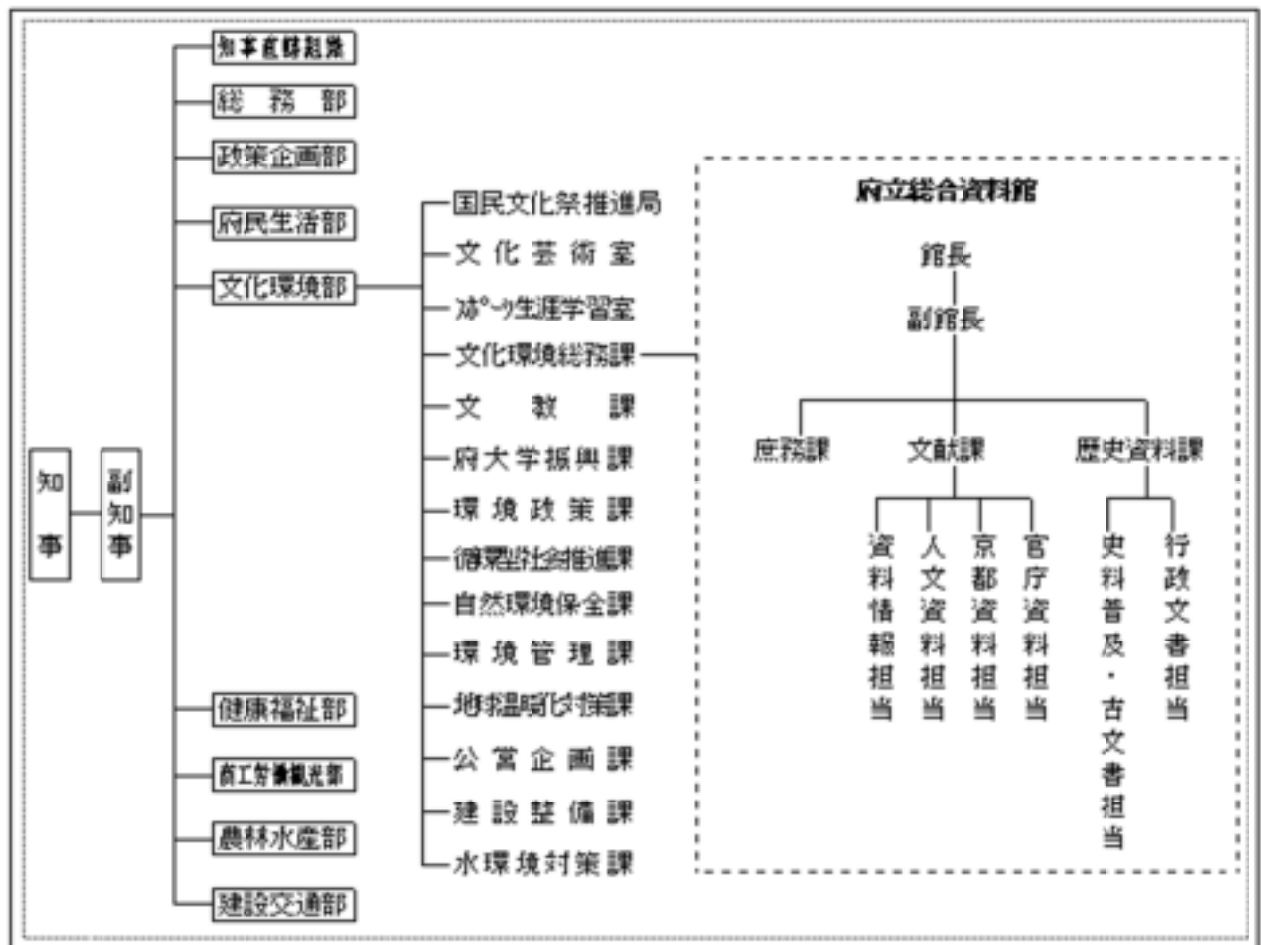
主要室の規模（平成23年3月31日現在）

1階		2階		3階		4階	
学習室	189㎡	展示室	194㎡	図書閲覧室	975㎡	講堂	327㎡(350席)
書庫	1,089㎡	書庫	1,045㎡	文書閲覧室	85㎡		
風俗資料室	116㎡	収蔵庫	478㎡	マルチメディアコーナー	65㎡		
収蔵庫	1,014㎡	第三書庫	335㎡	収蔵展示室	255㎡		



17 組織・業務分担・予算（平成23年4月1日現在）

（1）組織



（2）職員数

	職員	嘱託
館長	1	—
顧問	—	1
副館長	1	—
庶務課	10 ※	1
文献課	17	9
歴史資料課	11	1
計	40	12

注 副館長は庶務課長事務取扱であり、※の数に課長は含まない。

(3) 業務分担

ア 庶務課

- 1 公印の保管に関する事。
- 2 規程等の制定改廃に関する事。
- 3 人事、服務、給与及び勤務条件等に関する事。
- 4 広報及び文書事務等に関する事。
- 5 予算、決算及び会計事務に関する事。
- 6 財産の管理、運営及び庁舎の警備に関する事。
- 7 調査・研究機関との連携及び生涯学習事業の企画に関する事。
- 8 (財)京都文化財団への業務委託及び総合資料館友の会に関する事。
- 9 他課の所管に属さない事。

イ 文献課

- 1 図書等資料の収集、整理及び保存に関する事。
- 2 図書等資料の閲覧、利用及びレファレンスに関する事。
- 3 図書等資料の普及に関する事。
- 4 図書閲覧室及び書庫の管理運営に関する事。
- 5 関係機関との連絡調整に関する事。

ウ 歴史資料課

- 1 古文書、行政文書、写真資料及び近代文学資料の調査、収集、整理及び保存に関する事。
- 2 古文書、行政文書、写真資料及び近代文学資料の閲覧及び利用に関する事。
- 3 古文書、行政文書、写真資料及び近代文学資料の普及に関する事。
- 4 文書閲覧室及び文書庫の管理運営に関する事。
- 5 関係機関との連絡調整に関する事。

(4) 予算状況 (平成23年度当初予算)

(単位：千円)

区 分	予算額	説 明
図書収集整理閲覧事業	9,785	資料等の収集・閲覧等
文化資料収集保存展示事業	39,887	美術・工芸、伝統産業の現物資料の保存・展示
歴史資料収集公開事業	2,003	古文書、行政文書の収集・整理等
図書館情報ネットワークシステム運営事業	4,100	図書館情報ネットワークシステム運営事業
総合資料館館蔵資料保存・活用推進事業	1,275	展覧会、公開講座の開催等
重要文化財京都府行政文書修理事業費	8,000	京都府行政文書の修理・補修費用
計	65,050	

* 管理費を除く

18 平成22年度の主な活動

平成22年

4月7日	京都弁護士会情報問題対策委員会視察
4月21日	京都府図書館等連絡協議会（以下「京図連協」）定期総会（京都府立図書館）
4月22日	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会（以下「全史料協」）近畿部会役員会（奈良）
5月14日	全史料協大会研修委員会（広島）
5月18日	友の会現地講座
5月19日・20日	京丹後市史近世部門調査
5月20日	全史料協近畿部会総会等（奈良）
5月20日	京図連協広報委員会（府立図書館）
5月21日	全史料協調査・研究委員会（埼玉）
6月9日	国際アーカイブスの日記念講演会（東京）
6月10日	全国公文書館館長会議（東京）
6月11日	東京大学史料編纂所長着任挨拶
6月14日～18日	府庁2号館展示ロビー展示
6月18日	平成22年度総合目録ネットワーク研修会（国立国会図書館関西館）
6月22日	奈良女子大学来館
6月24日	全史料協全国（京都）大会古文書修復実演関係者打合せ会議
6月24日	京図連協相互協力委員会（府立図書館）
6月30日	府民講座「洛中洛外図と徳川の京都」
7月2日	府立大学古文書演習
7月3日	追手門学院大学来館
7月6日～9日	同志社女子大学図書館実習
7月8日	国立国会図書館長と都道府県立及び政令指定都市立図書館長との懇談会（国立国会図書館）
7月9日	全国公共図書館協議会総会（東京都立中央図書館）
7月16日	国立国会図書館関西館講演会
7月24日～8月22日	企画展「語り継がれる幕末・維新の京都」
7月30日	高知県立文学館来館
8月4日	府民講座「坂本龍馬はどこで殺されたのか」（府立大学）
8月9日～26日	歴史資料カレッジ前期申込受付
8月17日	府民講座「維新観としての「志士」と京都」
8月17日	日本古文書学会東寺百合文書視察
8月17日～20日	同志社大学図書館実習
8月19日	寺子屋講座「学ぼう！京野菜・京の健康食」
8月19日・20日	京丹後市史近世部門調査
8月24日～27日	龍谷大学図書館実習
8月25日	全史料協近畿部会
8月25日～26日	醍醐寺聖教調査（醍醐寺）
8月27日	全史料協調査・研究委員会（東京）
8月30日～9月2日、13日、14日	立命館大学インターンシップ学生受入（2名）
9月2日	第19回京都図書館大会（同志社大学）

9月2日、9日、30日	歴史資料カレッジ（前期）
9月7日～10日	国際シンポジウム（中国）
9月13日	全史料協大会・研修委員会
9月15日	庁内ベンチャー事業発表会
9月15日、16日	全史料協役員会
9月17日	全国図書館大会（奈良）
10月13日～15日	日本図書館協会建設研修会（新潟）
10月23日	京丹後市文化財セミナー出講
10月24日	京丹後市史近世部門調査
10月25日～29日	府庁2号館展示ロビー展示
10月25日～11月9日	古文書入門教室申込受付
10月27日	京丹後市史近世部門調査
10月27日、29日	友の会現地見学会（奈良）
10月30日～11月28日	展覧会「古典籍へようこそ」
11月1日	書籍『古典籍へようこそ—京都府立総合資料館の書庫から—』を出版
11月4日～5日	公文書館機能普及セミナー（高知）
11月5日	古典の日読書週間記念講演会：展示（府立図書館）
11月9日～10日	全国公共図書館協議会研究集会（富山）
11月11日	講演会「細川幽斎・忠興とガラシャ」
11月14日	シンポジウム「古典にまなび、古典にあそぶ」（府立大学）
11月20日	全史料協ブレ企画（上賀茂神社）
11月24日～25日	全史料協京都大会（当館が事務局を担当）
11月30日～12月2日	古文書入門教室
12月2日	京図連協研修会
12月2～3日	平成22年度法令・議会・官庁資料研修（国立国会図書館）
12月10日	府立大学古文書演習
12月15日	京図連協広報委員会（府立図書館）
平成23年	
1月25日～28日	図書館地区別研修（近畿地区）（京都市内）
1月26日～27日	公文書館実務担当者研究会議（東京）
1月27日	北京清華大学等近世文書整理関係視察
2月4日	全史料協調査・研究委員会（埼玉）
2月7日～24日	歴史資料カレッジ後期申込受付
2月10日	全史料協近畿部会
2月10日	京丹後市史近世部門調査
2月10日	第18回総合目録ネットワーク事業フォーラム（国立国会図書館関西館）
2月16日	全史料協大会・研修委員会（広島）
2月22日	館蔵資料デジタル化業務入札実施
2月24日	館蔵資料デジタル撮影業務入札実施
2月25日	全史料協役員会
2月26日～3月27日	総合資料館収蔵品展
3月1日	館蔵デジタル資料閲覧システム構築業務入札実施
3月3日、10日、17日	歴史資料カレッジ（後期）

- 3月11日 群馬県立文書館長（全史料協会会長）来館
- 3月13日 府民講座「京都の暮らしとわらべ歌・仕事歌」
- 3月25日 寺子屋講座「聞こう！学ぼう！京都の民話」
- 3月29日 日本古文書学会東寺百合文書視察

19 沿革

- 昭和 34. 34年度予算に調査・準備費を計上
- 35. 6. 6 「建設のための懇話会」を設置
- 36. 12. 8 起工式
- 37. 11. 10 定礎式
- 38. 10. 28 設置条例制定・施行（京都府立総合資料館条例・昭和38年条例第29号）
- 38. 11. 15 開館式及び祝賀会を挙行。翌16日から閲覧業務等開始（庶務部に庶務係・経理係、資料部に展示係・資料係、図書部に収書係・目録係・閲覧第一係・閲覧第二係・閲覧第三係を置く。3部9係）
- 39. 2. 21 文献資料の複写業務を開始
- 39. 4. 1 機構改革（係を課とし、3部9課）
- 39. 11. 14 「京都府立総合資料館友の会」発足
- 40. 4 京都府開庁100年を記念して京都府百年史を編さんすることとなり、事業を開始
- 41. 6 民謡調査を開始
- 42. 8. 11 「東寺百合文書」を受入れ、整理・補修業務を開始
- 43. 4. 23 京都府百年史編さん事業の本格化に伴い百年史編さん室を設置（3部1室9課）
- 43. 11 昔話調査を開始
- 45. 4 『京都新聞』（明治18年～昭和44年）のマイクロフィルム作成事業を開始
- 45. 8. 6 「古文書講習会」を開始
- 45. 8. 11 「東寺百合文書」及びその他の古文書の整理・保存事業を進めるため資料部に古文書課を設置するとともに、組織を再編（庶務部に庶務課、資料部に資料課・古文書課、図書部に整理課・閲覧課、百年史編さん室の3部1室5課）
- 45. 9. 22 「館蔵品陳列場」（現・2階展示室）を開設
- 45. 12 資料の寄託制度を開始
- 46. 1. 1 『資料館だより』創刊
- 46. 6 新聞マイクロフィルム版等の閲覧・複写業務を開始
- 46. 7. 15 第2収蔵庫完成（鉄筋コンクリート2階建 延274.76㎡）
- 46. 7 『公開特許公報』『公開実用新案公報』の閲覧業務を開始
- 47. 3. 31 『資料館紀要』創刊
- 47. 6. 1 京都府百年史編さん事業完了のため、百年史編さん室を廃止。同時に、当館に移管されることになった京都府庁文書を中心に関係資料を収集・整理するため、資料部に行政文書課を設置（3部6課）
- 48. 3. 30 第3収蔵庫完成（鉄筋コンクリート2階建、恒温恒湿設備、延1702.18㎡）
- 48. 6. 16 部制を廃止し、次長を置く。また、組織も6課に再編するとともに、各課に資料主任を置く。（庶務課（庶務係、経理係）、文献第一課、文献第二課、文化資料課、古文書課、行政文書課の6課2係）
- 48. 11. 15 開館10周年・新収蔵庫竣工記念式典を開催

48. 12 東寺観智院金剛蔵聖教調査を開始
49. 4 有形民俗資料調査を開始
49. 8 教科書を収集
51. 1 「京の百景」を受入れ
51. 5. 26 組織を整理・統合（庶務課（庶務係、経理係）、文献課、文化資料課、歴史資料課の4課2係）
51. 1 視覚障害者・身体障害者のため、玄関スロープ設置等の施設整備に着手
52. 3 府内市町村行政文書の保存状況調査を開始
52. 4 古文書の公開を開始
52. 1 古文書所在情報調査を開始
53. 3 府内市町村行政文書の保存状況調査を開始
55. 1 「東寺百合文書」の公開を開始
55. 4 「東寺百合文書」のマイクロ化事業を開始
55. 6. 6 「東寺百合文書」が重要文化財に指定される。
56. 4 近世文書マイクロ写真版の閲覧を開始
56. 6. 9 「東寺観智院伝来文書典籍類」が重要文化財に指定される。
56. 9. 10 第1回「古文書教室」を開催
57. 4 古文書センター推進事業に着手
57. 7. 4 大閲覧室、軽読書室、学習室、文書閲覧室の日曜日開室を実施し、毎月20日を休室日とする。
58. 4 「東寺百合文書」の第2次修理を開始
58. 4. 19 「軽読書室」を閉鎖
58. 5. 18 「京都府行政情報資料センター」を開設
大閲覧室内に「軽読書コーナー」を設置
58. 10. 14 開館20周年記念式典を開催。翌15日に記念講演会を開催
59. 4. 1 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会に加入
59. 4. 14 「革嶋家文書」及び「袈裟禪文銅鐸」が京都府指定文化財に指定される。
60. 5. 16 府内市町村図書館等を窓口とする館蔵図書のコピー業務を開始
61. 7. 1 国立国会図書館所蔵図書の閲覧利用サービスを開始
62. 5. 12 「古文書相談」を開始
63. 3. 29 美術工芸・歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示業務を京都府京都文化博物館（昭和63年10月開館）を運営する財団法人京都文化財団に委託するため、総合資料館条例一部改正条例（昭和63年条例第3号）を制定公布
63. 4. 14 ブック・ディテクション・システム（図書持出防止装置）を設置
63. 4. 18 文化資料課を廃止（庶務課（庶務係、経理係）、文献課、歴史資料課の3課2係）
美術工芸、歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示業務を財団法人京都文化財団に委託
63. 9. 30 京都府京都文化博物館の開館に伴い、「展示室」を廃止
「京都府行政情報資料センター」を廃止
63. 10. 1 京都府情報公開条例の施行に伴い、「府政情報コーナー」を設置
- 平成元. 4 貴重書のマイクロフィルム作成事業を開始
廃止した展示室の書庫・文書庫への改修など収蔵施設の整備を実施

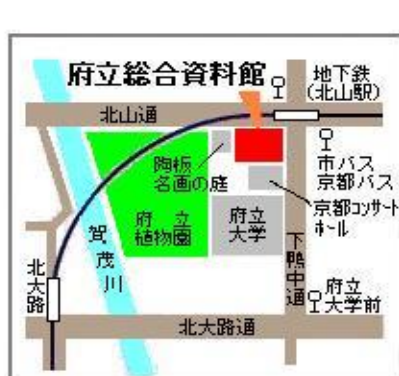
- 元. 10. 20 第1回「文化講座」を開催
- 2. 10. 8 古文書のマイクロフィルム公開を開始
- 3. 5 明治期京都府庁文書（永年文書）の緊急補修事業を開始
- 4. 4. 1 日本図書館協会に再加入
- 4. 7. 1 京都府図書館等連絡協議会に加盟する図書館等との資料貸借業務を開始
- 5. 4. 1 定例休館日を毎月20日から毎月第2水曜日に変更
- 5. 5. 20 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会に設立加入
- 5. 11. 7 開館30周年記念事業「北山まつり」を開催
- 6. 6. 4 「特別資料室」を開設し、吉田文庫を公開
- 9. 4 京都府立図書館の貴重書デジタル画像作成に資料提供
- 9. 6. 30 「東寺百合文書」が国宝に指定される。
- 10. 3. 31 「京都府知的所有権センター」の開設により、「特許資料室」を閉鎖
- 10. 12 閲覧可能な古文書の所在情報調査を開始
- 11. 4 京都府20世紀歴史資料保存事業を開始
- 12. 4 京都府20世紀資料整理事業を開始
- 12. 9. 30 「特別資料室」を閉鎖
- 12. 10. 1 京都府立図書館への図書資料の一部移管作業、館内施設整備等のため、大閲覧室及び学習室を休室
- 12. 12. 28 文書閲覧室を含め全館休館
- 13. 3. 23 「京都府行政文書」が府指定有形文化財に指定される。
- 13. 5. 11 京都府立図書館の新築開館に合わせ、当館も再開館（大閲覧室を図書閲覧室に名称変更、文書閲覧室を4階から3階へ移設、図書検索・貴重書画像閲覧の端末設置、木曜講座の開催等）
- 13. 7. 2 京都府図書館総合目録ネットワークシステムによる相互貸借を開始
- 13. 10. 9 国立国会図書館総合目録ネットワークに参加
- 14. 5. 23 「総合資料館府民講座」を開始
- 14. 6. 26 「京都府行政文書」が重要文化財に指定される。
- 14. 7. 19 ホームページを開設
- 14. 11. 26 「古文書解読講座」を開始
- 14. 12 「京の文化振興プラン（その1）－京都府が所蔵・保管する貴重な資料の活用方策－」策定
- 15. 5. 29 「革嶋家文書」が重要文化財に指定される。
- 15. 11 開館40周年を迎える。
- 16. 3. 25 東寺百合文書翻刻史料集第1巻を刊行。記念シンポジウムを開催
- 16. 4. 1 総合資料館所蔵資料データベース「京都北山アーカイブズ」の公開開始
- 19. 12 総合資料館あり方検討プラン策定
- 21. 1 総合資料館基本構想（案）取りまとめ
- 21. 3. 24 古久保家文書が府指定有形文化財に指定
- 21. 3. 27 府立大学、府立植物園、府立総合資料館の3機関が包括協定を締結
- 21. 8. 25 「古文書入門教室」を開始
- 21. 9. 10 「歴史資料カレッジ」を開始
- 21. 10. 17～11. 26 植物園、府立大学と共同で包括協定締結記念事業「北山から未来へ」を開催

(参考資料)

館蔵資料の国宝等指定一覧 (平成23年3月31日現在)

No.	種別	資料名	点数等	概要
1	国宝 (平 9. 6. 30 指定)	東寺百合文書	18,642 点	京都市南区の東寺(教王護国寺)に伝えられた文書で、奈良時代から江戸時代初期に至る約900年間の文書群です。 内容は宗教活動、寺院経済、荘園経営など中世史研究等の基本資料で、昭和42年、文化財保護を目的に京都府が購入しました。
2	重要文化財 (昭 56. 6. 9 指定)	東寺観智院伝来 文書典籍類	57 点	東寺の子院である観智院の金剛蔵に伝わった中世資料で、東寺百合文書同様、貴重な学術資料です。なお、本典籍類は同文書と同時に購入しました。
3	重要文化財 (平 14. 6. 26 指定)	京都府行政文書	15,407 点	京都府が行政を行うために管理保存してきた京都府の公文書のうち、京都府立庁前年の慶応3(1867)年から昭和21年度までの文書で、近代の政治、歴史、文化を知り得る貴重な資料です。
4	重要文化財 (平 15. 5. 29 指定)	革嶋家文書	2,459 通	京都市西京区川島の革嶋家に伝来した文書で、昭和49年、故革嶋廉三郎氏から寄贈されたものです。鎌倉時代から大正年間の約800年に及ぶ文書群で、革嶋家の歴史を物語るものです。
5	重要文化財 (昭 43. 4. 25 指定)	池 大雅 「柳下童子図 屏風」	1 点	江戸時代の画家で、日本の文人画の大成者・池大雅が描いた屏風絵です。平成7年、財団法人池大雅美術館(佐々木もと子館長)から京都府に寄贈された73件、85点に及ぶ大雅の絵画、書跡、関係資料のうちの1点です。
6	府指定有形 文化財 (昭 59. 4. 14 指定)	袈裟襷文銅鐸	4 口	昭和38年に、京都市右京区梅ヶ畑の宅地造成工事現場から発見された銅鐸で、昭和42年に京都府の所蔵になりました。型式の古さ、「入れ子」の状態での発見、同範鐸の存在など、学術的価値の高いものです。
7	府指定有形 文化財 (平 20. 3. 24 指定)	古久保家文書	266 点	寛文8(1668)年以来、代々上京下西陣組の町代を勤めた古久保家に伝わった古文書です。町代は江戸幕府の京都町奉行所と京都市中の町との間の諸事務を勤めました。御触留、町代の公事番所勤番日記等があります。

交通案内



京都市営地下鉄
烏丸線・北山駅下車(①出口)
市バス ④ 北⑧
北山駅前下車
京都バス ④⑤ ④⑥
前萩町下車

休館日

毎月第2水曜日、祝日法に規定する祝日(日曜日の場合は振替休日)、
年末年始(12月28日～1月4日)、蔵書整理期(不定)

開館時間

午前9時から午後4時30分まで

総合資料館 業務概要

- 平成22年度 -

発行日	平成23年9月
編集・発行	京都府立総合資料館
	〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-4
	電話 075-723-4831
	ファクシミリ 075-791-9466
	ホームページ http://www.pref.kyoto.jp/shiryokan/
	Eメールアドレス shiryokan-shomu@pref.kyoto.lg.jp
印刷	株式会社 田中プリント
